Early Observer MEL-E Freddo (Plus)
MELSEC iQ-R接続用ソフトウェア 解説書

FNF 0040 942
2026/9/18 修正：JCC Co., Ltd.

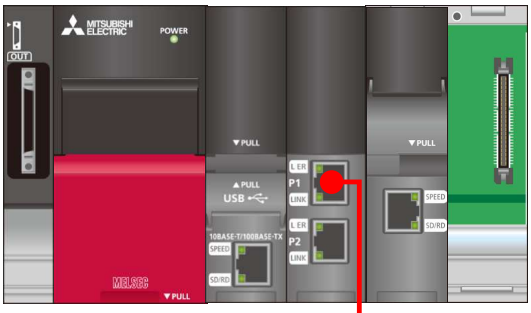
1. 概要

Early Observer MEL-E Freddo (Plus)　MELSEC iQ-R用接続ソフトウェアについて解説します。

この解説書では、MELSEC iQ-Rの"スロット0"に装着したEthernetインタフェースユニットの"ポート1"でMEL-E Freddoと通信するシーケンス例を示します。
※Ethernetインタフェースユニットは、"RJ71EN71"の使用を推奨します。
MELSEC iQ-R RnENCPUでは、ネットワーク部Ethernetポート(P1)でMEL-E Freddoと通信します。ポート(P2)はMEL-Eと通信できません。

[システム構成図]

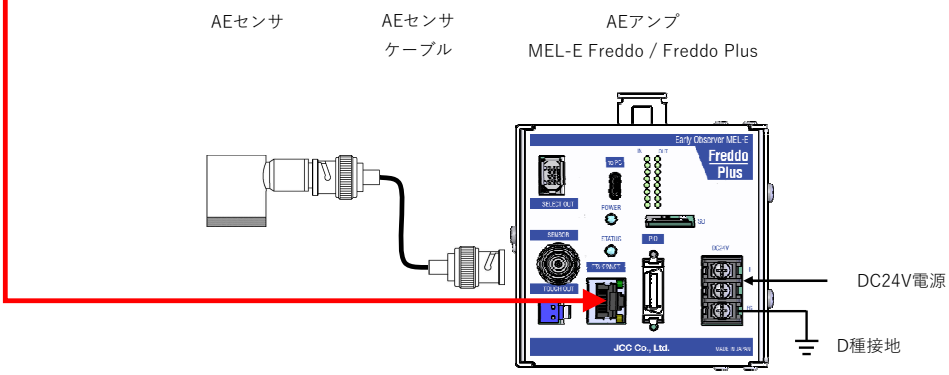
シーケンサ MELSEC iQ-R



■ サンプルシーケンス　ユニット構成

スロット	ユニット名	形式	
		RnCPU	RnENCPU
CPU	CPU	R04CPU	R04ENCPU
I/O 0	Ethernetユニット	RJ71EN71	※Port1
I/O 1	高速データロガー	RD81DL96	RD81DL96

※RnENCPUでは、
Port1に接続します。



Early Observer MEL-E Freddo (Plus) のMELSEC iQ-R用接続ソフトウェアは、ラベル機能を使用したFBライブラリで提供されます。
・ラベルとは、入出力データや内部処理に任意の文字列を指定した変数です。
・FBとはファンクションブロックの略称で、シーケンス内で使用する回路ブロックを部品化してシーケンスプログラム内で流用できるようにしたものです。

MELSEC iQ-R用接続ソフトウェアは次の8つのFBで構成されます。　※2026/9/18 修正

1. Initialize Data	：初期設定FB	MEL-E Freddo (Plus) に初期設定を行うFBです。
2. Time Adjustment	：時刻設定FB	MEL-E Freddo (Plus) にシーケンサの時刻を同期させるFBです。
3. Sensor Check	：センサ信号チェックFB	MEL-E Freddo (Plus) でセンサ信号チェックを行うFBです。
4. Mesurement Start/Stop	：計測開始FB	MEL-E Freddo (Plus) でAEセンサの計測を行うFBです。 FBの常時ON実行で、MEL-E Freddo (Plus)の動作状態をチェックします。
5. Touch Sensor Adjustment	：タッチセンサ設定FB	MEL-E Freddo (Plus) のタッチセンサ設定を書込みするFBです。
6. Standalone setting1	：Pegasus Plus設定1FB	MEL-E Freddo Plus の"Pegasus Plus設定1"パラメータ を書込みするFBです。
7. Standalone setting2	：Pegasus Plus設定2FB	MEL-E Freddo Plus の"Pegasus Plus設定2"パラメータ を書込みするFBです。
8. Standalone setting3	：Pegasus Plus設定3FB	MEL-E Freddo Plus の"Pegasus Plus設定3"パラメータ を書込みするFBです。

※注意1 Initialize:初期設定FBは内部を覗いて変更できますが、他のFBは部品化されており内部を覗くことはできません。

※注意2 この接続用ソフトウェアでは、例として下記のデバイスを使用しています。

デバイス	先頭	最終
M	M7101	M8781
D	D7000	D9100

既存シーケンスのデバイスと重複する場合は、デバイス番号を変更してご使用ください。

※注意3 MELSECの"コンスタントスキャン"機能は使用できません。

"コンスタントスキャン"はPLC側のタイミングでEthernet通信が行われるため、MEL-EではEthernet通信ができません。

※注意4 MEL-E とEthernetポートは1対1で接続してください。

HUB等を介した複数台接続の同時計測は、AE計測データ取りこぼしの恐れがあり動作保証の対象外です。

※注意5 AE計測の「送信間隔」(エッヂ処理時間)はシーケンサスキャンタイムの 4 倍以上の数値を指定してください。

「送信間隔」が早すぎると、AE計測データの取りこぼしが発生してEthernet通信が途中停止します。

「送信間隔」1msを選択したときは、MEL-EとPLCは"10ms"間隔でEthernet通信を行います。
この場合はシーケンサスキャンタイム"2.5ms"以下のシステム環境でご使用ください、

■ シーケンサAE計測の手順

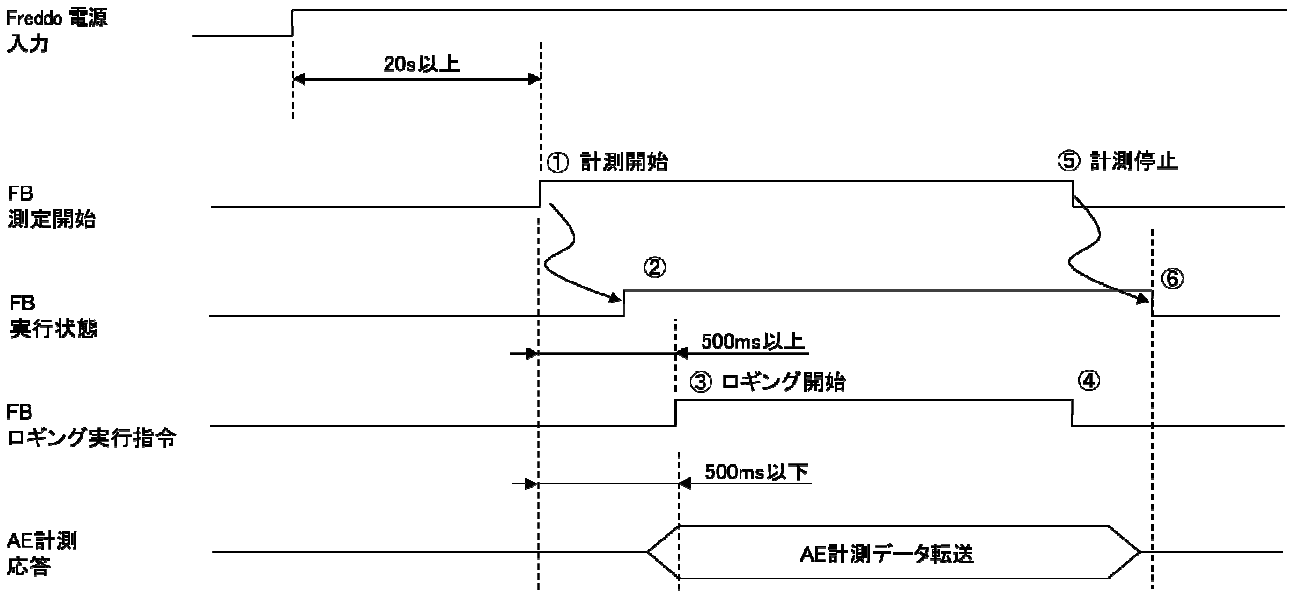
※2026/9/18 修正

シーケンサ(PLC)からのAE計測はつぎの手順で行ってください。

シーケンサ(PLC)からAE計測する場合の手順を示します。

(1) AE計測FBの“測定開始”をオンする。
(2) AE計測データを受信する。
(3) AE計測開始の0.5s以降に"ロギング実行指令"をONする。
　AE計測データのロギング計測を開始します。
　※”ロギング計測中”は、しきい値警報出力が行われ、ロギング計測終了時にサマリーデータを出力します。
(4) AE計測FBの“ロギング実行指令”をオフする。
(5) AE計測FBの“測定開始”をオフする。
(6) AE計測FBの“実行状態”オフを確認する。

（AE計測のシーケンスが終了）



※注意6 AE計測はMEL-E の電源をオンしてから20秒以降に行ってください。

（MEL-E は電源オンから最大20秒後に起動完了[POWER LED：緑点灯]します）

2. 接続用ソフトウェアの組込み

MELSEC iQ-R用接続ソフトウェア(FBライブラリ)は次の手順で、MELSEC iQ-R用ソフトウェアに組込んでください。

1. 既存のGX3プロジェクトを開く、または新規でGX3プロジェクトを作成します。
   ※ プロジェクトを新規作成する場合は、新規作成選択後のポップアップウィンドウ内で「ユニットラベル：使用する」に変更します。
   (1) ユニット追加ウィンドウで「設定変更」をクリックする。
   (2) オプションウィンドウが開きます。動作設定、ユニットラベルを使用する「はい」を選択します。
   (3) 「OK」をクリックします。
   (4) ユニット追加の確認ウィンドウに戻り「OK」をクリックします。



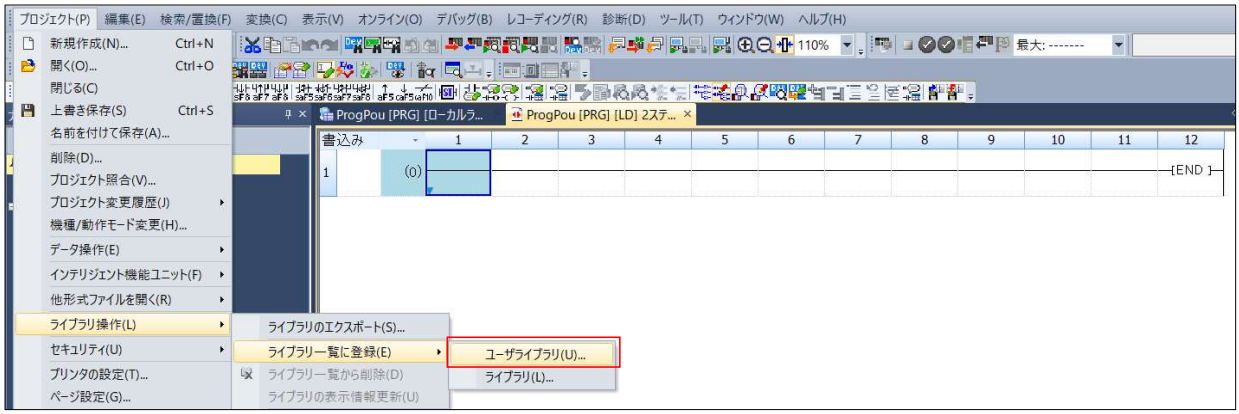
2. GX Works3のメニューを下記のように辿り"Early Observer MEL-E Sample-software CD""For MELSEC iQ-R"内のFBファイルを開いてください。
   プロジェクト→ライブラリ操作(L)→ライブラリ一覧に登録(E)→「ユーザライブラリ(U)... 」をクリックする。
   "Early Observer MEL-E Sample-software CD"￥EO MEL-E Uno￥For MELSEC iQ-R

MEL-Eを接続するEthernetユニットに適合するユーザライブラリのファイルを選択して開きます。

※2026/9/18 修正

- EthernetユニットRJ71EN71(E+E) : JCC-MEL-E1_r_v106A.usl
- CPU拡張ユニットRJ71EN71(E+IEC) : JCC-MEL-E1_RnENCPU_E+EC_r_v106A.usl
- CPU拡張ユニットRJ71EN71(E+IEF) : JCC-MEL-E1_RnENCPU_E+EF_r_v106A.usl

※末尾の番号はファイル作成時のバージョン表記で、予告なく変更されます。



3. 上記の操作後は、部品選択ウィンドウのユーザライブラリにFBが登録されます。

※ この操作を実行するとFBがGX Works3に登録されます。2度目以降は何度でもFBを使用できます。

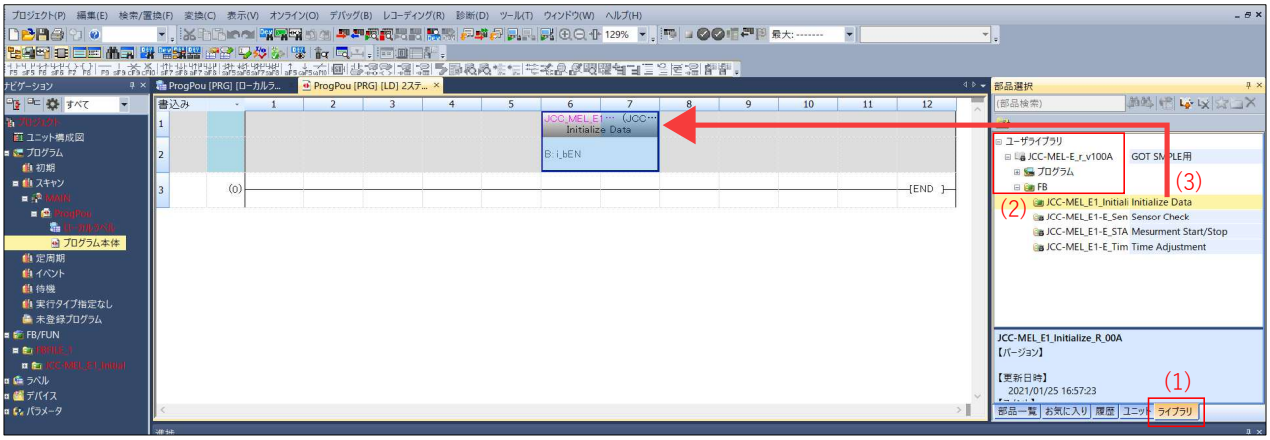
4. 部品選択ウィンドウからシーケンスラダー画面にFBをドラッグアンドドロップして移動します。

(1) 部品選択ウィンドウ→「ライブラリ」タブをクリックする。

(2) 「ユーザーライブラリ」の [+] をクリック→「JCC-MEL-E_****」の [+] をクリック→「FB」の [+] をクリックする。

※「JCC-MEL-E****」では、適用するFBを選択してください。

(3) FBをシーケンスラダーにドラッグアンドドロップして、登録する。



【注意】同じFBライブラリを複数回組み込む場合の注意事項

同じFBライブラリを複数回ドラッグアンドドロップで組込むと、上書きの警報ウインドウが開きます。「いいえ」を選択してください。

(1) 同じFBライブラリを複数回ドラッグアンドドロップすると、上書きの警報ウインドウが開きます。



(2) 「いいえ」をクリックして、FBを組込んでください。

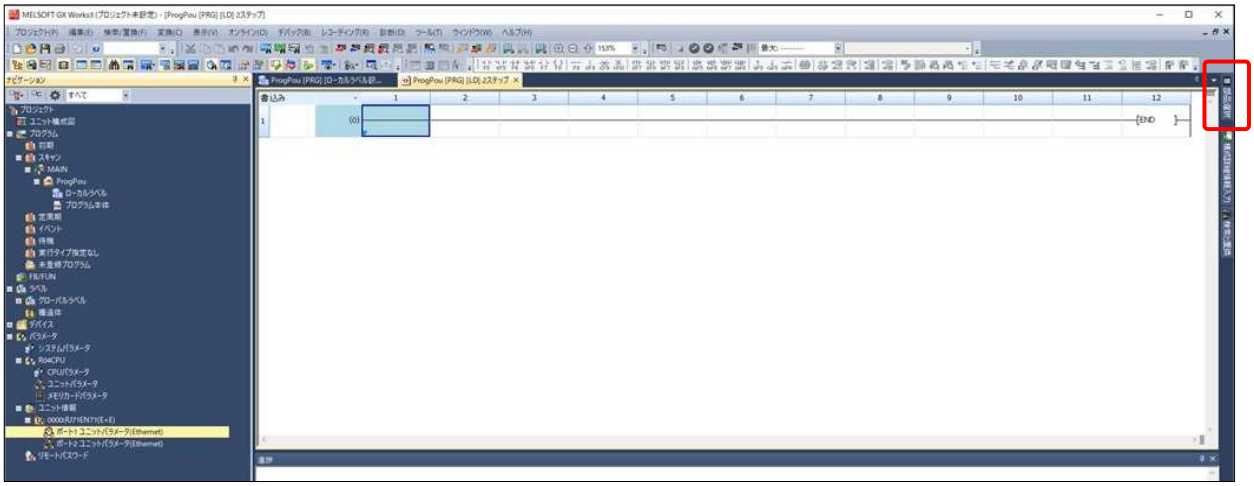
【注意】”ユニットラベル：使用しない”のプロジェクトで”ユニットラベル：使用する”に変更する方法。

次の手順でユニットラベルを追加してください。

1. 画面右端にある[部品選択]タブをクリック

※ 画面に「部品選択」タブが表示されていない場合は、[表示]→[ドッキングウィンドウ]→[部品選択]で表示します。

※ 画面に「部品選択」ウィンドウが表示されている場合は、そのまま手順2に進みます。

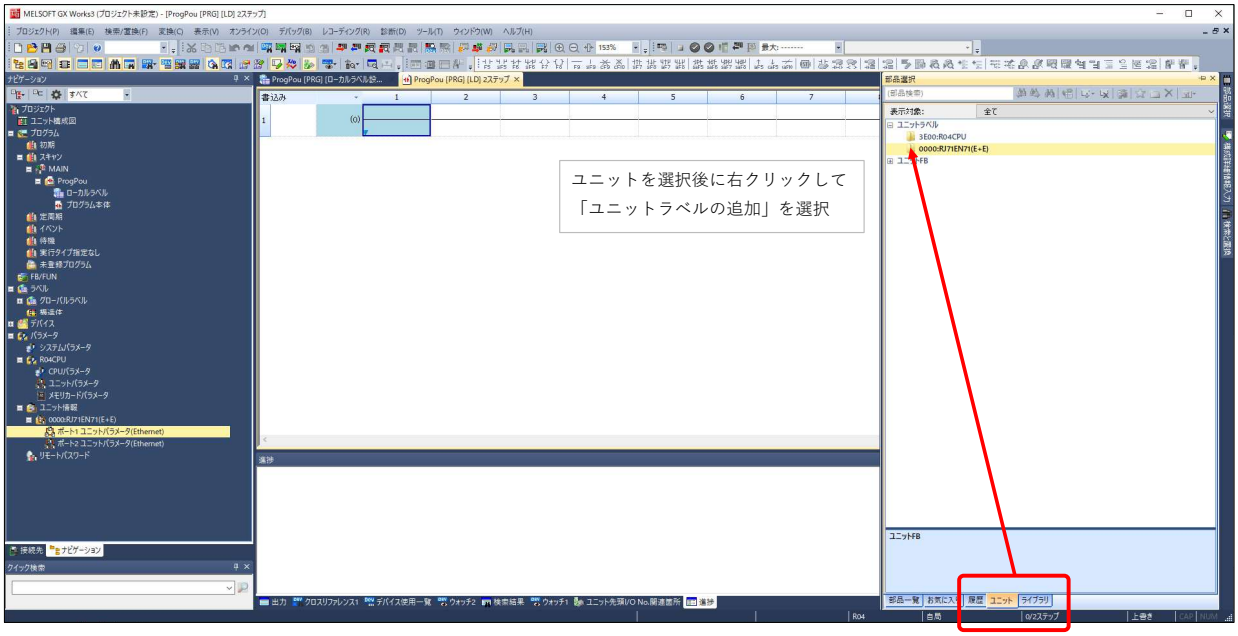


2. [ユニット]タブを選択して、ユニットラベルを追加したいユニットを選択後に右クリック 「ユニットラベルの追加(U)」でユニットラベルを追加

(1) 部品選択ウィンドウの[ユニット]タブをクリックします。

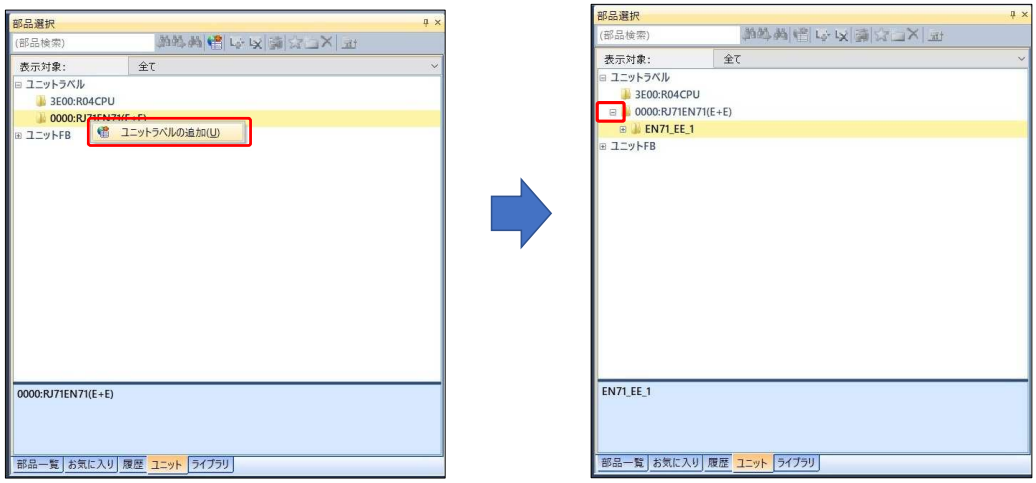
(2) [ユニットラベル]の[+]をクリックします。

(3) ユニットラベルを追加したいユニット（例：RJ71EN71(E＋E)を右クリックします。



(4) 「ユニットラベルの追加」ポップアップをクリックします。

(5) ユニットの[+]をクリックすると追加されたユニットラベル（例：EN71_EE1）が確認できます。



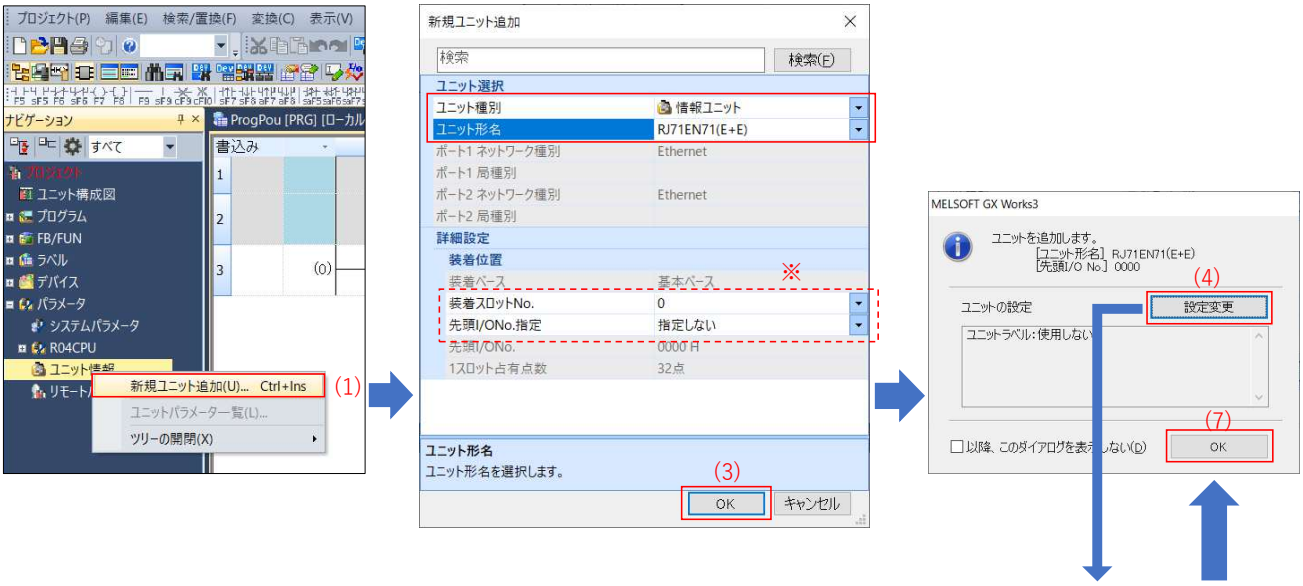
3. Ethernetポートの設定

3-1. EthernetインターフェースユニットRJ71EN71

Ethernetポートの設定は次の手順で、MELSEC iQ-Rのパラメータに設定してください。

■ Ethernetインタフェースユニットのパラメータ設定
※スロット0にEthernetインタフェースユニットRJ71EN71を装着し”ポート1”でMEL-E Unoと通信する場合の設定例

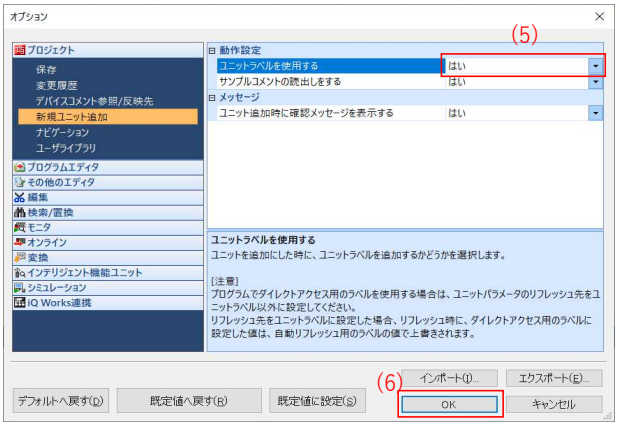
1. プロジェクトにEthernetインタフェースユニットRJ71EN71を追加します。
※すでにEthernetインタフェースユニットRJ71EN71が在る場合、「2」に進んでください。
GX Works3のナビゲーション内を下記のように辿り、"ポート1ユニットパラメータ(Ethernet)"を開いてください。
(1) ナビゲーション→パラメータ→「ユニット情報」で右クリック→「新規ユニット追加(U)… Ctrl+Ins」をクリックする。
(2) 新規ユニット追加で、ユニット種別「情報ユニット」、ユニット形名「RJ71RN71(E+E)」を選択する。
(3) 「OK」をクリックします。
※”装着スロットNo.”, ”先頭I/ONo.指定”はご使用の環境に応じて変更してください。
(4) ユニット追加の確認ウィンドウが開きます。「設定変更」をクリックします。



(5) オプションウィンドウが開きます。
動作設定、ユニットラベルを使用する「はい」を選択します。

(6) 「OK」をクリックします。

(7) ユニット追加の確認ウィンドウに戻ります。
「OK」をクリックします。



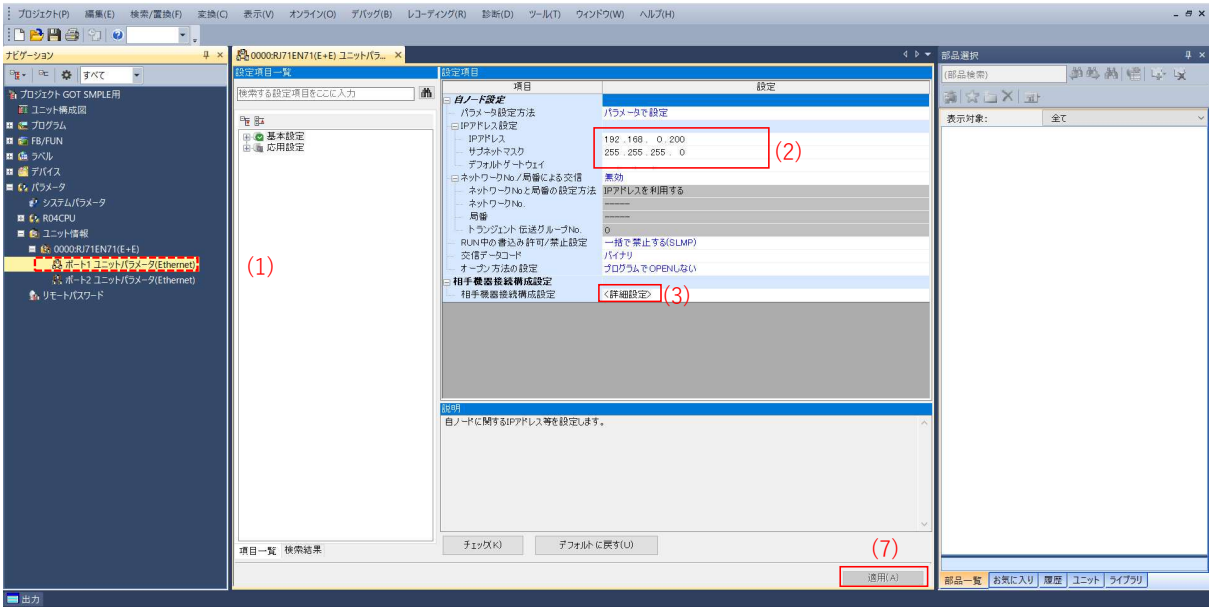
2. GX Works3のナビゲーション内を下記のように辿り、"ポート1ユニットパラメータ(Ethernet)"を開いてください。

(1) ナビゲーション→パラメータ→ユニット情報→0000:RJ71EN71(E+E)→「ポート1ユニットパラメータ(Ethernet)」をダブルクリックする。

(2) 各項目を次のように設定します。

IPアドレス　　：192 . 168 .　0. 200

サブネットマスク　　：255 . 255 . 255 .　0



(3) 相手機器接続構成設定の「＜詳細設定＞」をダブルクリックします。

(4) ユニット一覧ウィンドウの「Ethernet機器(汎用)」 [+] をクリック

コネクションNo.1～16には、"MELSOFT接続機器"を設定します。

→「UDP接続機器」をドラッグアンドドロップして左のウインドウに登録します。

(5) 各項目を設定します。

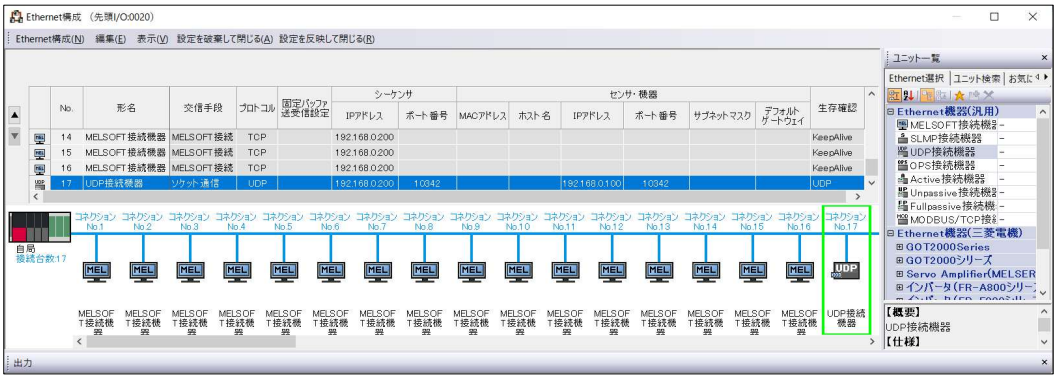
交信手段　　ソケット通信

シーケンサ　　IPアドレス：192.168.0.200、ポート番号：10342

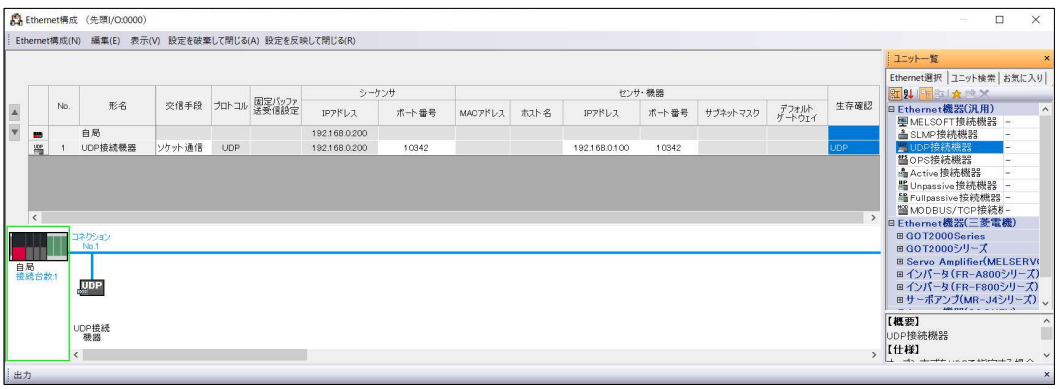
センサ・機器　　IPアドレス：192.168.0.100、ポート番号：10342

(6) メニューの「設定を反映して閉じる(R)」をクリックして、ウインドウを閉じます。

(7) 「適用」をクリックします。



※ MEL-EをRJ71EN71のPort2に接続する場合はコネクションNo.1に設定してください。



【注意】EthernetインターフェースユニットRJ71EN71に２台のMEL-Eを接続する場合の設定方法。

※RJ71EN71のポート1とポート2で異なる"IPアドレス"を設定してください。

■ Ethernetインタフェースユニットのパラメータ設定

スロット0にEthernetインタフェースユニットRJ71EN71を装着し"ポート2"でもMEL-Eと通信する場合の設定例

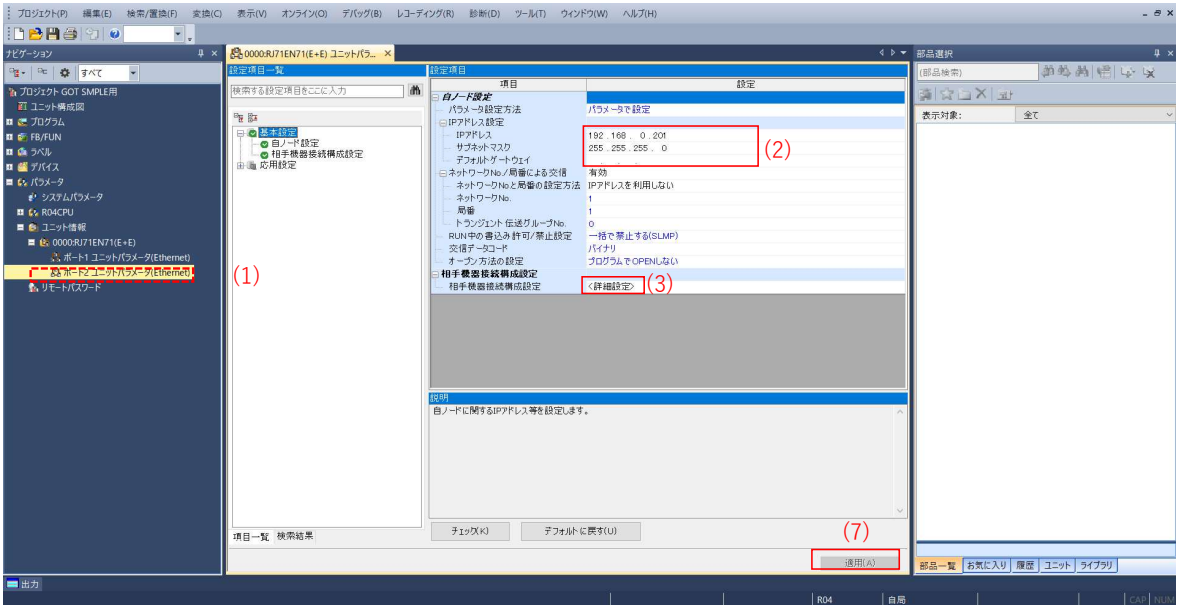
1. GX Works3のナビゲーション内を下記のように辿り、"ポート2ユニットパラメータ(Ethernet)"を開いてください。

(1) ナビゲーション→パラメータ→ユニット情報→0000:RJ71EN71(E+E)→「ポート2ユニットパラメータ(Ethernet)」をダブルクリック。

(2) 各項目を次のように設定します。

IPアドレス　　：192 . 168 .　0. 201

サブネットマスク　　：255 . 255 . 255 .　0



(3) 相手機器接続構成設定の「＜詳細設定＞」をダブルクリックします。

(4) ユニット一覧ウィンドウの「Ethernet機器(汎用)」[+] をクリック

→ コネクションNo.1に「UDP接続機器」をドラッグアンドドロップして登録します。

(5) 各項目を設定します。

交信手段　　ソケット通信

シーケンサ　　IPアドレス：192.168.0.201、ポート番号：10342

センサ・機器　　IPアドレス：192.168.0.100、ポート番号：10342

(6) メニューの「設定を反映して閉じる(R)」をクリックして、ウインドウを閉じます。

(7) 「適用」をクリックします。



2. PCで"AE SYSTEM SUPPORT TOOL"ソフトウェアを使用して、MEL-Eの通信先IPアドレスを変更します。（AE TOOL Ver.0.1以降）

(1) PCとMEL-E Unoを"PC接続用ケーブル"で接続し、AE SYSTEM SUPPORT TOOLを起動します。

(2) メニューの「設定(S)」をクリックして、設定画面を開きます。

(3) 通信設定２(MELSEC・PC側)の「IPアドレス」を設定し、[書込み]をクリックします。

通信先IPアドレス　　：192 . 168 .　0. 201



(4) **MEL-Eの電源をオフして、再投入します。**

【注意】 PCとMEL-E を"PC接続用ケーブル""USBケーブル"で接続して通信すると、MEL-Eとシーケンサのネットワーク通信は遮断されます。

MEL-E とシーケンサのEthernet通信を再開する場合は、MEL-E の電源を再投入してください。

※ "AE SYETSM SUPPORT TOOL"ソフトウェア の操作の詳細は、ユーザーズマニュアルを参照してください。

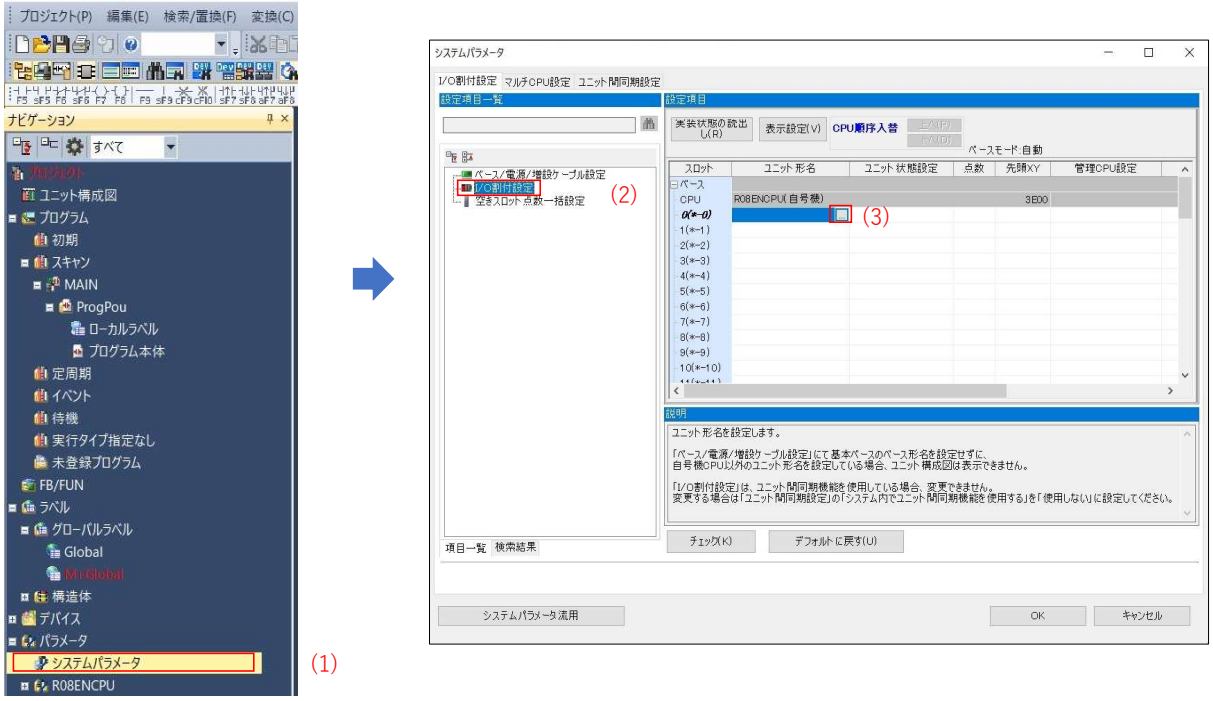
3-2. RnENCPU（CPU拡張ユニットRJ71EN71）

Ethernetポートの設定は次の手順で、MELSEC iQ-Rのパラメータに設定してください。

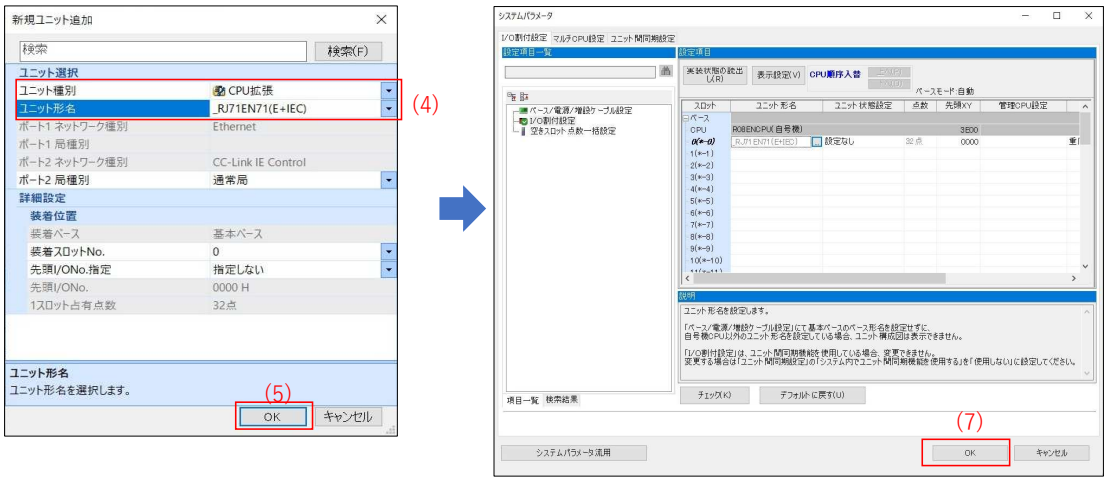
■ RnENCPUのネットワーク部のパラメータ設定

※RnENCPUではネットワーク部の"ポート1"でMEL-Eと通信します。（ネットワーク部"ポート2"はMEL-Eと通信できません。）

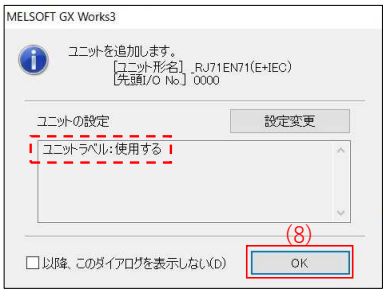
1. プロジェクトにRnENCPUのネットワーク部を追加します。　※すでにRnENCPUのネットワーク部設定が在る場合は「2」に進みます。
   GX Works3のナビゲーション内を下記のように辿り、"システムパラメータ"を開いてください。
   (1) ナビゲーション→パラメータ→「システムパラメータ」をダブルクリックする。
   ※確認ウィンドウが開いた場合は「OK」をクリックする。
   (2) システムパラメータで、「I/O割付設定」をクリックします。
   (3) スロット 0(*-0)のユニット形名「…」をクリックします。



   (4) 新規ユニット追加で、ユニット種別「CPU拡張」、ユニット形名「_RJ71EN71(E+IEC)」または(E+IEF)を選択する。
   (5) 「OK」をクリックします。
   (7) システムパラメータに戻り、「OK」をクリックします。



   (8) ユニット追加の確認ウィンドウが開きます。
   "ユニットラベル：使用する"を確認して「OK」をクリックします。



2. GX Works3のナビゲーション内を下記のように辿り、"ポート1ユニットパラメータ(Ethernet)"を開いてください。

(1) ナビゲーション→パラメータ→ユニット情報→0000:_RJ71EN71(E+IEC)

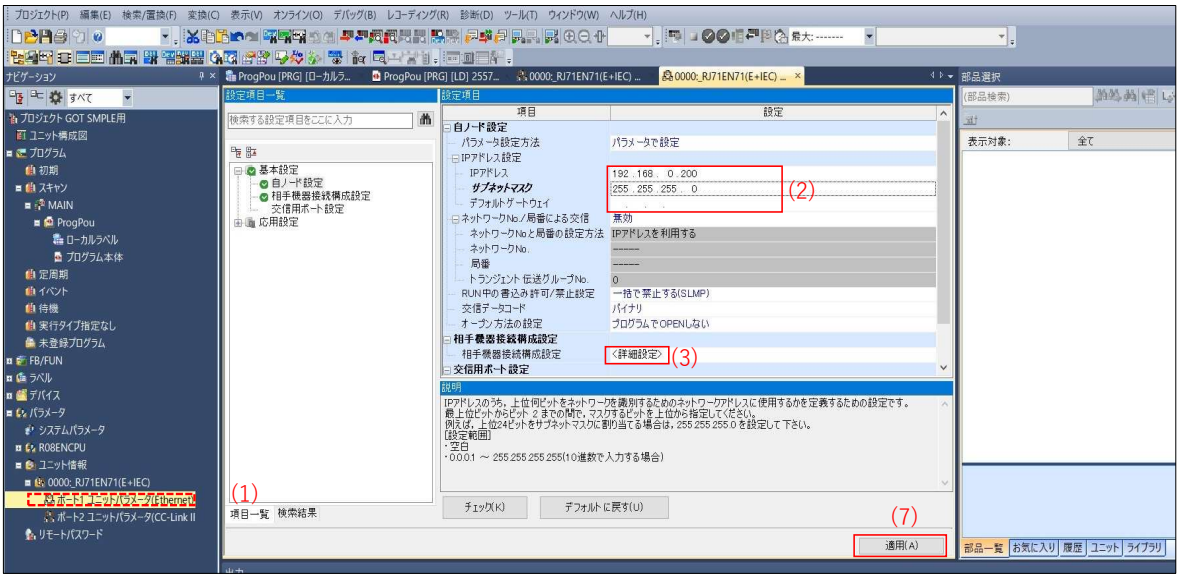
※ユニット形名で_RJ71EN71(E+IEF)を選択した場合は、そちらを開いてください。

→「ポート1ユニットパラメータ(Ethernet)」をダブルクリックする。

(2) 各項目を次のように設定します。

IPアドレス　　：192 . 168 .　 0. 200

サブネットマスク　　：255 . 255 . 255 .　 0



(3) 相手機器接続構成設定の「＜詳細設定＞」をダブルクリックします。

(4) ユニット一覧ウィンドウの「Ethernet機器(汎用)」 [+] をクリック

→コネクションNo.17に「UDP接続機器」をドラッグアンドドロップして左のウインドウに登録します。

※コネクションNo.1～16には、"MELSOFT接続機器"を登録します。

（No.1～16では「ソケット通信」が設定できません）

(5) 各項目を設定します。

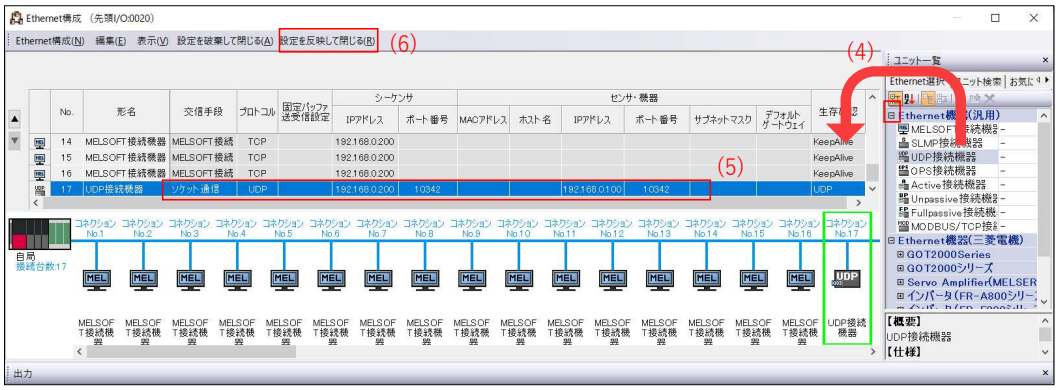
交信手段　　ソケット通信

シーケンサ　　IPアドレス：192.168.0.200、ポート番号：10342

センサ・機器　　IPアドレス：192.168.0.100、ポート番号：10342

(6) メニューの「設定を反映して閉じる(R)」をクリックして、ウインドウを閉じます。

(7) 「適用」をクリックします。



【注意】各FBのユニットラベル、コネクション番号は下記のように修正してください。

・ユニットラベル"EN71_EC_1", "Port1"の場合、ユニットラベル=[EN71_EC_1], コネクション番号=[K17]

・ユニットラベル"EN71_EF_1", "Port1"の場合、ユニットラベル=[EN71_EF_1], コネクション番号=[K17]

4. 接続用ソフトウェア（FB）の解説

4-1. Initialize Data

使用レジスタの初期化とMEL-E Freddoの初期設定値を設定するFBです。
FBの実行でMEL-E Freddoの初期設定値として下記の値を設定します。
※初期値はMEL-E Freddoの使用状況に応じて変更してご使用ください。　※2026/9/18 修正

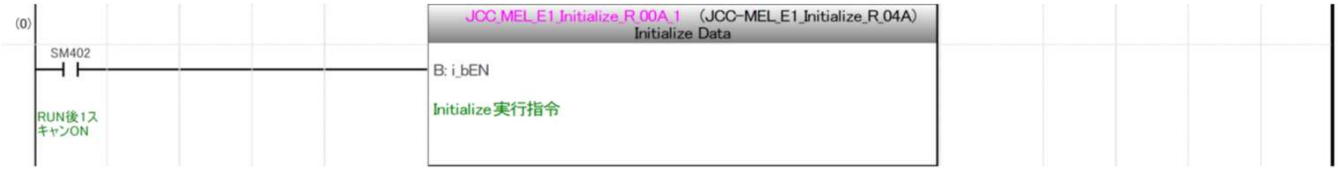
使用FB	初期設定項目	レジスタ	初期値	設定範囲
Sensor Check	センサ交換	D7221	K0	0：調整計測, 1：交換計測
Mesurement Start/Stop	送信間隔	D7521	K1	0：1m, 1：10m, 2：20m, 3：50m, 4：100m, 5：500m, 6：1, 7：2, 8：5, 9：10, 10：15, 11：20 [s]
	品種番号	D7531	K0	0：FB起動時書込のパラメータで計測, 1~8：Pegasus Plus品種1~8のパラメータ計測
	ロギング種別	D7541	K0	0：連続, 1：ロギングタイマ
	ロギングタイマ	D7551	K10	10~200：×0.1s(1s~20s)
	計測データ保存	D7561	K0	0：保存, 1：未保存
	Energy 按分値	D7571	K0	0~9
	ローパスフィルタ	D7581	K3	0：80, 1：100, 2：180, 3：200, 4：360, 5：400, 6：600, 7：1000 [kHz]
	ハイパスフィルタ	D7591	K4	0：20, 1：30, 2：50, 3：80, 4：100, 5：150, 6：200, 7：240 [kHz]
	ゲイン設定	D7601	K3	0：0dB, 1：10dB, 2：20dB, 3：30dB, 4：40dB, 5：50dB
	Amp.しきい値	D7611	K0	0：0% - 127：100%
	軸番号	D7621	K1	1：固定値
	Counts計測モード	D7631	K0	0：0V交点数モード, 1：Amp.しきい値交点数モード
Touch Sensor Adjistment	Amp.しきい値	D8201	K0	0~8191
	Energyしきい値	D8211	K0	0~12800
	TouchOut出力時間	D8221	K0	0~200：×0.01s(0~2.00s)
	Amp.検出回数	D8231	K0	0：検出なし, 1~255
Standalone setting2	品種番号	D8420	K1	1~8
	しきい値警報1 対象データ	D8430	K0	0：なし, 1：Amplitude, 2：Energy, 3：RMS, 4：Counts, 5：Energy最大値, 6：Energy総和値 7：RMS最大値, 8：RMS総和値, 9：Amplitude平均値, 10：Amplitudeバラツキ値
	しきい値1按分値	D8432	K0	0~9
	しきい値1	D8434	K0	0~99999999
	しきい値1警報時間	D8436	K0	0~65535：×0.01s(0~655.35s)
	しきい値警報2 対象データ	D8440	K0	0：なし, 1：Amplitude, 2：Energy, 3：RMS, 4：Counts, 5：Energy最大値, 6：Energy総和値 7：RMS最大値, 8：RMS総和値, 9：Amplitude平均値, 10：Amplitudeバラツキ値
	しきい値2按分値	D8442	K0	0~9
	しきい値2	D8444	K0	0~99999999
	しきい値2警報時間	D8446	K0	0~65535：×0.01s(0~655.35s)
	品種番号	D8620	K1	1~8
	ロギングタイマ	D8630	K0	0：連続, 10~200：×0.1s(1.0~20.0s)
	送信間隔	D8632	K0	0：1m, 1：10m, 2：20m, 3：50m, 4：100m, 5：500m, 6：1, 7：2, 8：5, 9：10, 10：15, 11：20 [s]
	Energy 按分値	D8634	K0	0~9
	ロギング種別	D8636	K0	0：連続, 1：タイマ
	ローパスフィルタ	D8638	K0	0：80, 1：100, 2：180, 3：200, 4：360, 5：400, 6：600, 7：1000 [kHz]
	ハイパスフィルタ	D8640	K0	0：20, 1：30, 2：50, 3：80, 4：100, 5：150, 6：200, 7：240 [kHz]
	ゲイン設定	D8642	K0	0：0dB, 1：10dB, 2：20dB, 3：30dB, 4：40dB, 5：50dB
	Amp.しきい値	D8644	K0	0：0% - 127：100%（設定値×39mV=しきい値[mV]）
	軸番号	D8646	K1	1：固定値
	Counts計測モード	D8648	K0	0：0V交点数モード, 1：Amp.しきい値交点数モード
	Amp.検出回数	D8650	K0	TouchOut設定　0：検出なし, 1~255
	Amp.しきい値	D8652	K0	TouchOut設定　0~8191
	Energyしきい値	D8654	K0	TouchOut設定　0：検出なし, 1~12800
	TouchOut出力時間	D8656	K0	TouchOut設定　0~200：×0.01s(0~2.00s)
Standalone setting1	品種番号	D8820	K1	1~8
	計測トリガ	D8830	K0	0：PIO, 1：PC(コマンド)
	SD有無	D8832	K0	0：SDなし, 1：SDあり
	SD上書き	D8834	K0	0：禁止, 1：許可

【使用方法】

RUN後1スキャンONで、"i_bEN(Initialize実行指令)"bitをONしてください。（例：SM402）

※注意事項：AEセンサの計測中は実行できません。

【シーケンス例】



Initialize Data FBでは、サンプルプログラムで各FBに使用するレジスタを初期化します。

使用FB	項目	レジスタ
Time Adjustment	TimeAdj ユニットエラーID	D7101
	TimeAdj FBエラーID	D7111
Sensor Check	SensorCheck ユニットエラーID	D7301
	SensorCheck FBエラーID	D7311
	SensorCheck センサ基準値	D7321
	SensorCheck センサ履歴1	D7331
	SensorCheck センサ履歴2	D7341
	SensorCheck センサ履歴3	D7351
	SensorCheck センサ履歴4	D7361
	SensorCheck センサ履歴5	D7371
	SensorCheck センサ履歴6	D7381
	SensorCheck センサ履歴7	D7391
	SensorCheck センサ履歴8	D7401
	SensorCheck センサ履歴9	D7411
	SensorCheck センサ履歴10	D7421
Mesurement Start/Stop	Mesurement ユニットエラーID	D7701
	Mesurement FBエラーID	D7711
	Mesurement 計測ミリ秒	D7721
	Mesurement 計測秒	D7731
	Mesurement 計測分	D7741
	Mesurement 計測時	D7751
	Mesurement Amplitude値	D7761
	Mesurement Energy値	D7771
	Mesurement RMS値	D7781
	Mesurement 品種番号	D7791
	Mesurement しきい値警報	D7801
	Mesurement Counts値	D7811
	Mesurement 按分値	D7821
	Mesurement 送信間隔	D7831
	Mesurement 計測状態	D7841
	Mesurement 電源異常	D7851
	Mesurement ケーブル異常	D7861
	Mesurement HPF	D7871
	Mesurement GAIN	D7881
	Mesurement Counts計測用しきい値	D7891
	Mesurement LPF	D7901
	Mesurement Counts計測モード	D7911

使用FB	項目	レジスタ
Status Check	StatusCheck ユニットエラーID	D8001
	StatusCheck FBエラーID	D8011
	StatusCheck 入力信号	D8021
	StatusCheck 出力信号	D8031
	StatusCheck 計測開始トリガ指定	D8041
	StatusCheck SD有無	D8051
	StatusCheck SD上書可否	D8061
	StatusCheck SD使用率	D8071
Touch Sensor Adjistment	TouchSensorAdj ユニットエラーID	D8101
	TouchSensorAdj FBエラーID	D8111
	TouchSensorAdj Amp検出回数	D8121
	TouchSensorAdj Ampしきい値	D8131
	TouchSensorAd Energyしきい値	D8141
	TouchSensorAd TouchOut出力時間	D8151
Standalone setting1	Standalone1 ユニットエラーID	D8301
	Standalone1 FBエラーID	D8311
	Standalone1 設定番号	D8320
	Standalone1 しきい値1計測種類	D8330
	Standalone1 しきい値1按分値	D8332
	Standalone1 しきい値1設定値	D8334
	Standalone1 しきい値1出力時間	D8336
	Standalone1 しきい値2計測種類	D8340
	Standalone1 しきい値2按分値	D8342
	Standalone1 しきい値2設定値	D8344
	Standalone1 しきい値2出力時間	D8346
Standalone setting2	Standalone2 ユニットエラーID	D8501
	Standalone2 FBエラーID	D8511
	Standalone2 設定番号	D8520
	Standalone2 ロギング時間	D8530
	Standalone2 送信間隔	D8532
	Standalone2 Energy按分値	D8534
	Standalone2 ロギングモード	D8536
	Standalone2 LPF	D8538
	Standalone2 HPF	D8540
	Standalone2 GAIN	D8542
	Standalone2 Countsしきい値	D8544
	Standalone2 軸番号	D8546
	Standalone2 Counts計測モード	D8548
	Standalone2 TouchOut検出回数	D8550
	Standalone2 Ampしきい値	D8552
	Standalone2 Energyしきい値	D8554
	Standalone2 TouchOut出力時間	D8556
Standalone setting3	Standalone3 ユニットエラーID	D8701
	Standalone3 FBエラーID	D8711
	Standalone3 設定番号	D8720
	Standalone3 計測開始トリガ	D8730
	Standalone3 SD有無	D8732
	Standalone3 SD上書	D8734

4-2. Time Adjustment

MEL-E Freddoにシーケンサの時刻を同期させるFBです。
FBの実行でシーケンサの時刻をMEL-E Freddoに書込みます。

【使用方法】

"i_bEN(実行指令)"bitをONし、"o_bOK(正常終了)"または"o_bError(異常終了)"のbitがONしたら"i_bEN"bitをOFFします。

※注意事項：AEセンサの計測中は実行しないでください。

【シーケンス例】



※1 ユニットラベル、コネクション番号はMEL-E Freddoを接続するEthernetインタフェースユニットに合わせて変更してください。
例：ユニットラベル"EN71_EE_2", "Port2"の場合、ユニットラベル=[EN71_EE_2], コネクション番号=[K65]

【入出力ラベル説明】 ※2026/9/18 修正

	ラベル名	デバイス	種別	ラベル機能
入力	i_bEN	M7101	bit	FB実行指令
	i_stModule	–	ユニットラベル	Ethernetユニットラベル
	i_uConNo	–	ワード[符号なし]	Ethernetコネクション番号
出力	o_bENO	M7151	bit	FB実行状態
	o_bOK	M7171	bit	FB正常終了
	o_bError	M7181	bit	FB異常終了
	o_uMErr	D7101	ワード[符号なし]	EthernetユニットエラーID
	o_uErrorId	D7111	ワード[符号なし]	FBエラーID

【FBエラーコード一覧】 ※2026/9/18 修正

番号	内容	対処方法
200	コネクション設定範囲外	Ethernetユニットで使用できる17～64,65～129の範囲で設定してください。
210	通信タイムアウト	原因：FB通信を開始後30秒以上応答がない 設定アドレス、ポート番号およびEthernet接続を確認してください。
220	受信タイムアウト	原因：MEL-Eから2秒以上通信が受信できない。 通信経路の確認をしてください。MEL-Eユニットの状態を確認して ください。

※ ユニットエラーコードは、Ethernetインタフェースユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
三菱電機㈱ MELSEC iQ-R Ethernet ユーザーズマニュアル(応用編)「3.5 エラーコード一覧」

4-3. Sensor Check

MEL-E Freddoでセンサ信号チェックを行うFBです。センサ交換(D7221)の値で動作が変化します。

センサ交換=K0　調整計測：AEセンサのレベルチェックを行います。
FBの実行でAEセンサ信号を計測して履歴1に保存します。また、基準値と過去10回の計測値を返信します。

センサ交換=K1　交換計測：AEセンサを交換後にレベルチェックを行います。AEセンサの基準値を更新します。
FBの実行でAEセンサ信号を計測して基準値に保存します。また、過去10回の計測値を初期化します。

【使用方法】

"i_bEN(実行指令)"bitをONし、"o_bOK(正常終了)"または"o_bError(異常終了)"のbitがONしたら"i_bEN"bitをOFFします。

※注意事項：AEセンサの計測中は実行しないでください。

【シーケンス例】



※1 ユニットラベル、コネクション番号はMEL-E Freddoを接続するEthernetインタフェースユニットに合わせて変更してください。
例：ユニットラベル"EN71_EE_2", "Port2"の場合、ユニットラベル=[EN71_EE_2], コネクション番号=[K65]

【入出力ラベル説明】 ※2026/9/18 修正

	ラベル名	デバイス	種別	ラベル機能
入力	i_bEN	M7201	bit	FB実行指令
	i_stModule	–	ユニットラベル	Ethernetユニットラベル
	i_uConNo	–	ワード[符号なし]	Ethernetコネクション番号
	i_wSensorCheck	D7221	ワード[符号付]	0x00:調整計測 0x01:交換計測
出力	o_bENO	M7251	bit	FB実行状態
	o_bOK	M7171	bit	FB正常終了
	o_bError	M7281	bit	FB異常終了
	o_uMErr	D7301	ワード[符号なし]	EthernetユニットエラーID
	o_uErrorId	D7311	ワード[符号なし]	FBエラーID
	o_uSenAmpStdVl	D7321	ワード[符号なし]	センサ基準値(Amplitude)
	o_uSenAmpHstVl1	D7331	ワード[符号なし]	センサ履歴1(最新)
	o_uSenAmpHstVl2	D7341	ワード[符号なし]	センサ履歴2
	o_uSenAmpHstVl3	D7351	ワード[符号なし]	センサ履歴3
	o_uSenAmpHstVl4	D7361	ワード[符号なし]	センサ履歴4
	o_uSenAmpHstVl5	D7371	ワード[符号なし]	センサ履歴5
	o_uSenAmpHstVl6	D7381	ワード[符号なし]	センサ履歴6
	o_uSenAmpHstVl7	D7391	ワード[符号なし]	センサ履歴7
	o_uSenAmpHstVl8	D7401	ワード[符号なし]	センサ履歴8
	o_uSenAmpHstVl9	D7411	ワード[符号なし]	センサ履歴9
	o_uSenAmpHstVl10	D7421	ワード[符号なし]	センサ履歴10

【FBエラーコード一覧】 ※2026/9/18 修正

番号	内容	対処方法
40	センサ交換チェック設定範囲外	0:調整計測または1:交換計測で設定してください。
200	コネクション設定範囲外	Ethernetユニットで使用できる17～64,65～129の範囲で設定してください。
210	通信タイムアウト	原因：FB通信を開始後30秒以上応答がない 設定アドレス、ポート番号およびEthernet接続を確認してください。
220	受信タイムアウト	原因：MEL-Eから2秒以上通信が受信できない。 通信経路の確認をしてください。MEL-Eユニットの状態を確認して ください。

※ ユニットエラーコードは、Ethernetインタフェースユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
三菱電機㈱ MELSEC iQ-R Ethernet ユーザーズマニュアル(応用編)「3.5 エラーコード一覧」

4-4. Mesurement Start/Stop

※2026/9/18 修正

MEL-E FreddoでAEセンサの計測を行うFBです。
FBの常時ON実行で、MEL-E Freddo (Plus)の動作状態をチェックします。

FBの実行でAEセンサ計測を行い、”送信間隔” 毎に計測データを更新します。
※ "送信間隔" 1msを選択した場合は10ms間隔で通信を行い、1msの計測データを10個分まとめて10ms間隔で更新します。
【使用方法】

"i_bStart(測定開始)"bitのONでAE計測を開始して、"i_bStart"bitのOFFでAE計測を終了します。
AE計測開始の0.5秒後に"i_bLogEN(ロギング実行指令)"bitのONでロギング計測を開始、"i_bLogEN"bitのOFFで「サマリデータ」を出力します。
AE計測中は"o_bENO(実行状態)"bitがONします。
※注意事項：他のMEL-E Freddo用FB実行中はAE計測を実行しないでください。

【シーケンス例】



※1 ユニットラベル、コネクション番号はMEL-E Freddoを接続するEthernetインタフェースユニットに合わせて変更してください。
例：ユニットラベル"EN71_EE_2", "Port2"の場合、ユニットラベル=[EN71_EE_2], コネクション番号=[K65]


D7621
UW: i_uAxisNo
Mesurement軸番号
軸番号
D7631
UW: i_uCountsMode
Mesurement Counts計測モード
Counts計測モード
M7501
B: i_bStart
Mesurement実行指令
測定開始
o_uProrata :UW
D7821
按分値
Mesurment按分値
o_uInterval :UW
D7831
送信間隔
Mesurement送信間隔
o_uMeasureStatus :UW
D7841
計測状態
Mesurement計測状態
o_uPowerAlarm :UW
D7851
電源異常
Mesurement電源異常
o_uCableAlarm :UW
D7861
ケーブル異常
Mesurement ケーブル異常
o_uHPF :UW
D7871
HPF
Mesurement HPF
o_uGAIN :UW
D7881
GAIN
Mesurement GAIN
o_uCountsLimit :UW
D7891
Counts計測用しきい値
Mesurement Counts計測用しきい値
o_uLPF :UW
D7901
LPF
Mesurement LPF
o_uCountsMode :UW
D7911
Counts計測モード
Mesurement Counts計測モード
o_uAmp2 :UW
D9002
Amplitude2
Mesurement Amplitude値2
o_eEnergy2 :E
D9022
Energy2
Mesurement Energy値2
o_uRMS2 :UW
D9042
RMS2
Mesurement RMS値2
o_uLimitAlarm2 :UW
D9062
しきい値警報2
Mesurementしきい値警報2
o_uCounts2 :UD
D9082
Counts2値
Mesurment Counts値2
o_uAmp3 :UW
D9004
Amplitude3
Mesurement Amplitude値3
o_eEnergy3 :E
D9024
Energy3
Mesurement Energy値3
o_uRMS3 :UW
D9044
RMS3
Mesurement RMS値3
o_uLimitAlarm3 :UW
D9064
しきい値警報3
Mesurementしきい値警報3


o_uCounts3 :UD
D9084
Counts3値
Mesurment Counts値3
o_uAmp4 :UW
D9006
Amplitude4
Mesurement Amplitude値4
o_eEnergy4 :E
D9026
Energy4
Mesurement Energy値4
o_uRMS4 :UW
D9046
RMS4
Mesurement RMS値4
o_uLimitAlarm4 :UW
D9066
しきい値警報4
Mesurementしきい値警報4
o_uCounts4 :UD
D9086
Counts4値
Mesurment Counts値4
o_uAmp5 :UW
D9008
Amplitude5
Mesurement Amplitude値5
o_eEnergy5 :E
D9028
Energy5
Mesurement Energy値5
o_uRMS5 :UW
D9048
RMS5
Mesurement RMS値5
o_uLimitAlarm5 :UW
D9068
しきい値警報5
Mesurementしきい値警報5
o_uCounts5 :UD
D9088
Counts5値
Mesurment Counts値5
o_uAmp6 :UW
D9010
Amplitude6
Mesurement Amplitude値6
o_eEnergy6 :E
D9030
Energy6
Mesurement Energy値6
o_uRMS6 :UW
D9050
RMS6
Mesurement RMS値6
o_uLimitAlarm6 :UW
D9070
しきい値警報6
Mesurementしきい値警報6
o_uCounts6 :UD
D9090
Counts6値
Mesurment Counts値6
o_uAmp7 :UW
D9012
Amplitude7
Mesurement Amplitude値7
o_eEnergy7 :E
D9032
Energy7
Mesurement Energy値7
o_uRMS7 :UW
D9052
RMS7
Mesurement RMS値7


o_uLimitAlarm7 :UW
D9072
しきい値警報7
Mesurementしきい値警報7
o_uCounts7 :UD
D9092
Counts7値
Mesurment Counts値7
o_uAmp8 :UW
D9014
Amplitude8
Mesurement Amplitude値8
o_eEnergy8 :E
D9034
Energy8
Mesurement Energy値8
o_uRMS8 :UW
D9054
RMS8
Mesurement RMS値8
o_uLimitAlarm8 :UW
D9074
しきい値警報8
Mesurementしきい値警報8
o_uCounts8 :UD
D9094
Counts8値
Mesurment Counts値8
o_uAmp9 :UW
D9016
Amplitude9
Mesurement Amplitude値9
o_eEnergy9 :E
D9036
Energy9
Mesurement Energy値9
o_uRMS9 :UW
D9056
RMS9
Mesurement RMS値9
o_uLimitAlarm9 :UW
D9076
しきい値警報9
Mesurementしきい値警報9
o_uCounts9 :UD
D9096
Counts9値
Mesurment Counts値9
o_uAmp10 :UW
D9018
Amplitude10
Mesurement Amplitude値10
o_eEnergy10 :E
D9038
Energy10
Mesurement Energy値10
o_uRMS10 :UW
D9058
RMS10
Mesurement RMS値10
o_uLimitAlarm10 :UW
D9078
しきい値警報10
Mesurementしきい値警報10
o_uCounts10 :UD
D9098
Counts10値
Mesurment Counts値10


o_uAmpValueMax :UW
D7920
Amplitude最大値
Mesurement Amplitude最大値
o_uAmpValueAvg :UW
D7922
Amplitude平均値
Mesurement Amplitude平均値
o_uAmpValueDev :UW
D7924
Amplitudeばらつき値
Mesurement Amplitudeばらつき値
o_eEnergyMax :E
D7930
Energy最大値
Mesurement Energy最大値
o_eEnergySum :E
D7932
Energy総和値
Mesurement Energy総和値
o_uRMSMax :UW
D7940
RMS最大値
Mesurement RMS最大値
o_uRMSSum :UD
D7942
RMS総和値
Mesurement RMS総和値
o_uEnergyProrata :UW
D7934
Energy按分値
Mesurement Energy按分値
o_uRMSProrata :UW
D7944
RMS按分値
Mesurement RMS按分値
o_uHPFSum :UW
D7950
HPFサマリ
HPFサマリ
o_uLPFSum :UW
D7952
LPFサマリ
LPFサマリ
o_uLPF_HPF :UW
D7954
LPF/HPF組合せ結果
LPF/HPF組合せ結果
o_uAl1Data :UW
D7960
しきい値警報1対象データ
しきい値警報1対象データ
o_eAl1SettingSum :E
D7962
しきい値警報1設定値
しきい値警報1設定値
o_uAl1Result :UW
D7964
しきい値警報1判定結果
しきい値警報1判定結果
o_uAl2Data :UW
D7970
しきい値警報2対象データ
しきい値警報2対象データ
o_eAl2SettingSum :E
D7972
しきい値警報2設定値
しきい値警報2設定値
o_uAl2Result :UW
D7974
しきい値警報2判定結果
しきい値警報2判定結果


o_uInputStatus :UW
D8021
入力信号
StatusCheck入力信号
o_uOutputStatus :UW
D8031
出力信号
StatusCheck出力信号
o_uMesurreTrig :UW
D8041
計測開始トリガ指定
StatusCheck計測開始トリガ指定
o_SDStatus :UW
D8051
SD有無
StatusCheckSD有無
o_SDWrite :UW
D8061
SD上書可否
StatusCheckSD上書可否
o_SDUsageRate :UW
D8071
SD使用率
StatusCheckSD使用率
o_bInterval1mm :B
M7591
送信間隔1ms
送信間隔1ms

【入出力ラベル説明】－1　　※2026/9/18 修正

	ラベル名	デバイス	種別	ラベル機能
入力	i_bEN	SM400	bit	FB実行指令
	i_bLogEN	M7511	bit	ロギング実行指令
	i_stModule	－	ユニットラベル	Ethernetユニットユニットラベル
	i_uConNo	－	ワード[符号なし]	Ethernetコネクション番号
	i_uInterval	D7521	ワード[符号なし]	送信間隔　0:1m, 1:10m, 2:20m, 3:50m, 4:100m, 5:500m, 6:1, 7:2, 8:5, 9:10, 10:15, 11:20 [s]
	i_uTypeNo	D7531	ワード[符号なし]	品種番号　0：FB起動時書込パラメータ計測, 1~8：Pegasus Plus品種1~8のパラメータ計測
	i_uLogType	D7541	ワード[符号なし]	ロギング種別　0：連続, 1：ロギングタイマ
	i_uLogTime	D7551	ワード[符号なし]	ロギングタイマ　10~200：×0.1s(1s~20s)
	i_uDataMemory	D7561	ワード[符号なし]	計測データ保存　0：保存, 1：未保存
	i_uEnergyProrata	D7571	ワード[符号なし]	Energy 按分値　0~9
	i_uLPF	D7581	ワード[符号なし]	ローパスフィルタ　0：80, 1：100, 2：180, 3：200, 4：360, 5：400, 6：600, 7：1000 [kHz]
	i_uHPF	D7591	ワード[符号なし]	ハイパスフィルタ　0：20, 1：30, 2：50, 3：80, 4：100, 5：150, 6：200, 7：240 [kHz]
	i_uGain	D7601	ワード[符号なし]	ゲイン設定　0：0dB, 1：10dB, 2：20dB, 3：30dB, 4：40dB, 5：50dB
	i_uCounts	D7611	ワード[符号なし]	Amp.しきい値　0：0% - 127：100%
	i_uAxisNo	D7621	ワード[符号なし]	軸番号　1：固定値
	i_uCountsMode	D7631	ワード[符号なし]	Counts計測モード　0：0V交点数モード, 1：Amp.しきい値交点数モード
	i_bStart	M7501	bit	測定開始
出力	o_bENO	M7551	bit	FB実行状態
	o_bError	M7581	bit	FB異常終了
	o_uMErr	D7701	ワード[符号なし]	EthernetユニットエラーID
	o_uErrorId	D7711	ワード[符号なし]	FBエラーID
	o_umSec	D7721	ワード[符号なし]	計測時刻"ミリ秒"　0~999
	o_uSec	D7731	ワード[符号なし]	計測時刻"秒"　0~59
	o_uMin	D7741	ワード[符号なし]	計測時刻"分"　0~59
	o_uHour	D7751	ワード[符号なし]	計測時刻"時"　0~23
	o_uAmp1	D9000	ワード[符号なし]	Amplitude値1　0~5000
	o_eEnergy1	D9020	実数	Energy値1　0~99999999
	o_uRMS1	D9040	ワード[符号なし]	RMS値1　0~5000
	o_uTypeNo	D7791	ワード[符号なし]	品種番号　0：FB起動時書込パラメータ計測, 1~8：Pegasus Plus品種1~8のパラメータ計測
	o_uLimitAlarm	D9060	ワード[符号なし]	しきい値警報1　0：警報なし, 1：警報1 ON, 2：警報2 ON, 3：警報1･2 ON
	o_uCounts1	D9080	ダブルワード	Counts値1　0~10,000,000
	o_uProrata	D7821	ワード[符号なし]	按分値　0~9
	o_uInterval	D7831	ワード[符号なし]	送信間隔　0:1m, 1:10m, 2:20m, 3:50m, 4:100m, 5:500m, 6:1, 7:2, 8:5, 9:10, 10:15, 11:20 [s]
	o_uMeasureStatus	D7841	ワード[符号なし]	計測状態　0：未ロギング, 1：ロギング中
	o_uPowerAlarm	D7851	ワード[符号なし]	電源異常　0：正常, 1：過電圧, 2：電圧低下
	o_uCableAlarm	D7861	ワード[符号なし]	ケーブル異常　0：正常, 1：断線, 2：短絡
	o_uHPF	D7871	ワード[符号なし]	ハイパスフィルタ　0：20, 1：30, 2：50, 3：80, 4：100, 5：150, 6：200, 7：240 [kHz]
	o_uGAIN	D7881	ワード[符号なし]	ゲイン　0：0dB, 1：10dB, 2：20dB, 3：30dB, 4：40dB, 5：50dB
	o_uCountsLimit	D7891	ワード[符号なし]	Amp.しきい値　0：0% - 127：100%（設定値×39mV=しきい値[mV]）
	o_uLPF	D7901	ワード[符号なし]	ローパスフィルタ　0：80, 1：100, 2：180, 3：200, 4：360, 5：400, 6：600, 7：1000 [kHz]
	o_uCountsMode	D7911	ワード[符号なし]	Counts計測モード　0：0V交点数モード, 1：Amp.しきい値交点数モード
	o_uAmp２	D9002	ワード[符号なし]	Amplitude値2　1ms計測時の計測データ2
	o_eEnergy2	D9022	実数	Energy値2　1ms計測時の計測データ2
	o_uRMS2	D9042	ワード[符号なし]	RMS値2　1ms計測時の計測データ2
	o_uLimitAlarm2	D9062	ワード[符号なし]	しきい値警報2　1ms計測時の計測データ2
	o_uCounts2	D9082	ダブルワード	Counts値2　1ms計測時の計測データ2

出力	o_uAmp3	D9004	ワード[符号なし]	Amplitude値3	出力	o_uAmp7	D9012	ワード[符号なし]	Amplitude値7
	o_eEnergy3	D9024	実数	Energy値3		o_eEnergy7	D9032	実数	Energy値7
	o_uRMS3	D9044	ワード[符号なし]	RMS値3		o_uRMS7	D9052	ワード[符号なし]	RMS値7
	o_uLimitAlarm3	D9064	ワード[符号なし]	しきい値警報3		o_uLimitAlarm7	D9072	ワード[符号なし]	しきい値警報7
	o_uCounts3	D9084	ダブルワード	Counts値3		o_uCounts7	D9092	ダブルワード	Counts値7
	o_uAmp4	D9006	ワード[符号なし]	Amplitude値4		o_uAmp8	D9014	ワード[符号なし]	Amplitude値8
	o_eEnergy4	D9026	実数	Energy値4		o_eEnergy8	D9034	実数	Energy値8
	o_uRMS4	D9046	ワード[符号なし]	RMS値4		o_uRMS8	D9054	ワード[符号なし]	RMS値8
	o_uLimitAlarm4	D9066	ワード[符号なし]	しきい値警報4		o_uLimitAlarm8	D9074	ワード[符号なし]	しきい値警報8
	o_uCounts4	D9086	ダブルワード	Counts値4		o_uCounts8	D9094	ダブルワード	Counts値8
	o_uAmp5	D9008	ワード[符号なし]	Amplitude値5		o_uAmp9	D9016	ワード[符号なし]	Amplitude値9
	o_eEnergy5	D9028	実数	Energy値5		o_eEnergy9	D9036	実数	Energy値9
	o_uRMS5	D9048	ワード[符号なし]	RMS値5		o_uRMS9	D9056	ワード[符号なし]	RMS値9
	o_uLimitAlarm5	D9068	ワード[符号なし]	しきい値警報5		o_uLimitAlarm9	D9076	ワード[符号なし]	しきい値警報9
	o_uCounts5	D9088	ダブルワード	Counts値5		o_uCounts9	D9096	ダブルワード	Counts値9
	o_uAmp6	D9010	ワード[符号なし]	Amplitude値6		o_uAmp10	D9018	ワード[符号なし]	Amplitude値10
	o_eEnergy6	D9030	実数	Energy値6		o_eEnergy10	D9038	実数	Energy値10
	o_uRMS6	D9050	ワード[符号なし]	RMS値6		o_uRMS10	D9058	ワード[符号なし]	RMS値10
	o_uLimitAlarm6	D9070	ワード[符号なし]	しきい値警報5		o_uLimitAlarm10	D9078	ワード[符号なし]	しきい値警報10
	o_uCounts6	D9090	ダブルワード	Counts値6		o_uCounts10	D9098	ダブルワード	Counts値10

※ "送信間隔" 1msを選択した場合は10ms間隔で通信を行い、1msの計測データを10個分まとめて10ms間隔で更新します。

【入出力ラベル説明】－2（サマリデータ）

	ラベル名	デバイス	種別	ラベル機能	
出力	o_uAmpValueMax	D7920	ワード[符号なし]	Amplitude最大値	ロギング中のAmplitude最大値
	o_uAmpValueAvg	D7922	ワード[符号なし]	Amplitude平均値	ロギング中のAmplitude平均値
	o_uAmpValueDev	D7924	ワード[符号なし]	Amplitudeばらつき値	ロギング中のAmplitudeバラツキ（最大値－最小値）
	o_eEnergyMax	D7930	実数	Energy最大値	ロギング中のEnergy最大値
	o_eEnergySum	D7932	実数	Energy総和値	ロギング中のEnergy総和値
	o_uRMSMax	D7940	ワード[符号なし]	RMS最大値	ロギング中のRMS最大値
	o_uRMSSum	D7942	ダブルワード	RMS総和値	ロギング中のRMS総和値
	o_uEnergyProrata	D7934	ワード[符号なし]	Energy按分値	Energy総和値/最大値の按分値
	o_uRMSProrata	D7944	ワード[符号なし]	RMS按分値	RMS総和値の按分値
	o_uHPFSum	D7950	ワード[符号なし]	HPFサマリ	0：20, 1：30, 2：50, 3：80, 4：100, 5：150, 6：200, 7：240 [kHz]
	o_uLPFSum	D7952	ワード[符号なし]	LPFサマリ	0：80, 1：100, 2：180, 3：200, 4：360, 5：400, 6：600, 7：1000 [kHz]
	o_uLPF_HPF	D7954	ワード[符号なし]	LPF/HPF組合せ	0：正常, 1：異常

【入出力ラベル説明】－3（しきい値警報1/2 データ）　※2026/9/18 追加

	ラベル名	デバイス	種別	ラベル機能	
出力	o_uAl1Data	D7960	ワード[符号なし]	しきい値警報1対象	0:なし, 1:Amplitude, 2:Energy, 3:RMS, 4:Counts、5:Energy最大値, 6:Energy総和値 7:RMS最大値, 8:RMS総和値, 9:Amplitude平均値, 10:Amplitudeバラツキ値
	o_uAl1SettingSum	D7962	実数	しきい値1	0~99999999
	o_uAl1Result	D7964	ワード[符号なし]	しきい値警報1判定	0：警報なし, 1：警報 ON
	o_uAl2Data	D7970	ワード[符号なし]	しきい値警報2対象	0:なし, 1:Amplitude, 2:Energy, 3:RMS, 4:Counts、5:Energy最大値, 6:Energy総和値 7:RMS最大値, 8:RMS総和値, 9:Amplitude平均値, 10:Amplitudeバラツキ値
	o_uAl2SettingSum	D7972	実数	しきい値2	0~99999999
	o_uAl2Result	D7974	ワード[符号なし]	しきい値警報2判定	0：警報なし, 1：警報 ON

【入出力ラベル説明】－4（動作状態）　※2026/9/18 追加

	ラベル名	デバイス	種別	ラベル機能	
出力	o_uInputStatus	D8021	ワード[符号なし]	入力信号状態	0~255　※2 各信号のON/OFFは下表で確認します。
	o_uOutputStatus	D8031	ワード[符号なし]	出力信号状態	0~255　※2 各信号のON/OFFは下表で確認します。
	o_uMesurreTrig	D8041	ワード[符号なし]	計測トリガ	0：PIO, 1：PC(コマンド)
	o_uSDStatus	D8051	ワード[符号なし]	SD有無	0：SDなし, 1：SDあり
	o_uSDWrite	D8061	ワード[符号なし]	SD上書可否	0：禁止, 1：許可
	o_uSDUsageRate	D8071	ワード[符号なし]	SD使用率	0~1000：×0.1(0~100.0%)
	o_bInterval1mm	M7591	bit	送信間隔1ms計測中	

※2 入力/出力信号のON/OFF確認方法

IN	信号名	ON値	OFF値
0	AE計測	1	0
1	ロギング	2	0
2	品種１	4	0
3	品種２	8	0
4	品種３	16	0
5	－	32	0
6	－	64	0
7	しきい値警報リセット	128	0

例：IN0とIN1が"ON"＝3 (1+2)

OUT	信号名	ON値	OFF値
0	AE計測　アンサバック	1	0
1	ロギング　アンサバック	2	0
2	品種アンサバック１	4	0
3	品種アンサバック２	8	0
4	品種アンサバック３	16	0
5	しきい値警報１	32	0
6	しきい値警報２	64	0
7	装置正常	128	0

例：OUT7が"ON"＝128

【FBエラーコード一覧】　※2026/9/18 修正

番号	内容	対処方法
10	ゲインが設定範囲外	範囲内の数値を設定してください。
20	HPFが設定範囲外	範囲内の数値を設定してください。
30	交点数モードが設定範囲外	"1"または"3"を設定してください。
50	送信間隔が設定範囲外	範囲内の数値を設定してください。
100	AEセンサ断線	AEセンサを点検してください。
110	AEセンサショート	AEセンサを点検してください。
120	過電圧	AEアンプを点検してください。
130	電圧低下	AEアンプを点検してください。
200	コネクション設定範囲外	Ethernetユニットで使用できる17～64,65～129の範囲で設定してください。
210	通信タイムアウト	原因：FB通信を開始後30秒以上応答がない 設定アドレス、ポート番号およびEthernet接続を確認してください。
220	受信タイムアウト	原因：MEL-Eから5秒以上通信が受信できない。 通信経路の確認をしてください。MEL-Eユニットの状態を確認して ください。

※ ユニットエラーコードは、Ethernetインタフェースユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
三菱電機㈱ MELSEC iQ-R Ethernet ユーザーズマニュアル(応用編)「3.5 エラーコード一覧」

【重要】AE測定中に中断した場合の復旧方法

AE測定中に外部要因で中断した場合は、必ずFBを停止してMEL-Eを再起動（初期化）してください。

MEL-Eを再起動しないと、再開時にPLCのEthernetユニットに大量のデータが入力されてユニットエラーが発生します。
"CPUリセット"が必要になります。

■ AE測定中に中断した場合は、次の手順で復旧を行ってください。

1. AE測定中にCPUの電源がオフした場合。
   (1) MEL-E 電源 切／入（再起動）
   ※電源オン後はMEL-Eの起動（POWER_LED:緑点灯）まで20秒以上待ってください。
   (2) CPU電源オン
   (3) FB実行（実行指令 B:i_ben=ON）

2. AE測定中にLANケーブルが抜けた場合。
   (1) FB停止（実行指令 B:i_ben=OFF）
   (2) MEL-E 電源 切
   (3) LANケーブル再接続
   (4) MEL-E 電源 入（再起動）
   ※電源オン後はMEL-Eの起動（POWER_LED:緑点灯）まで20秒以上待ってください。
   (3) FB実行（実行指令 B:i_ben=ON）

3. AE測定中にMEL-Eの電源がオフした場合。
   (1) FB停止（実行指令 B:i_ben=OFF）
   (2) MEL-E 電源 入（再起動）
   ※電源オン後はMEL-Eの起動（POWER_LED:緑点灯）まで20秒以上待ってください。
   (3) FB実行（実行指令 B:i_ben=ON）

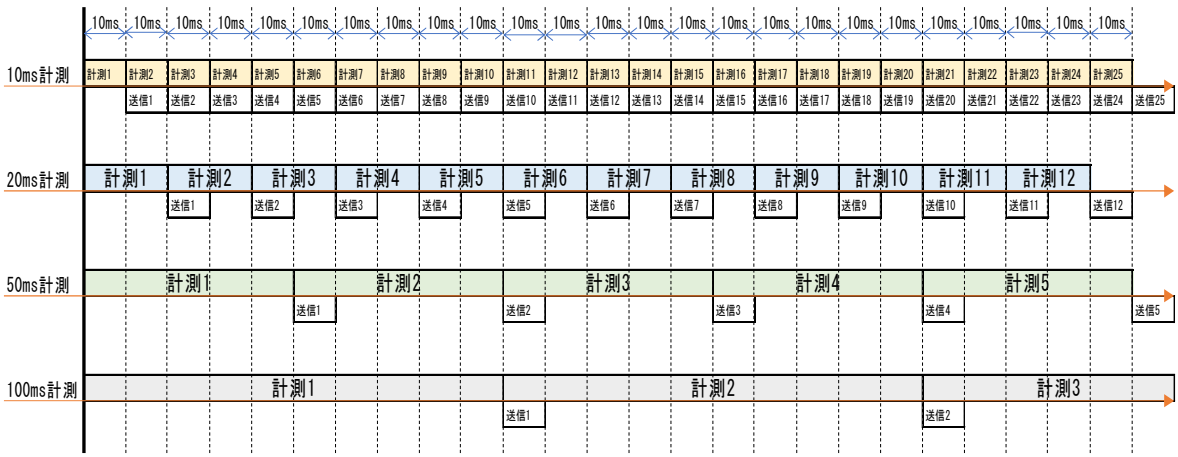
4. AE測定中にFBエラー220（受信タイムアウト）が発生した場合。
   (1) FB停止（実行指令 B:i_ben=OFF）
   (2) MEL-E 電源 切／入（再起動）
   ※電源オン後はMEL-Eの起動（POWER_LED:緑点灯）まで20秒以上待ってください。
   (3) FB実行（実行指令 B:i_ben=ON）

Point!

AE測定のデータが不安定なときは、初期設定の「送信間隔」を大きくしてください。

シーケンサCPUの処理内容によって、MEL-EのAEデータを取りこぼしたりエラーを発生する場合があります。
このような場合は、初期設定の「送信間隔」を大きくして、処理の負担を軽減してください。
AEデータの取りこぼしが改善されることがあります。

計測間隔　イメージ図



4-5. Touch Sensor Adjustment

MEL-E Freddo のタッチセンサ設定の書込みを行うFBです。

【使用方法】

"i_bEN(実行指令)"bitをONし、"o_bOK(正常終了)"または"o_bError(異常終了)"のbitがONしたら"i_bEN"bitをOFFします。

※注意事項：AEセンサの計測中は実行しないでください。

【シーケンス例】



※1 ユニットラベル、コネクション番号はMEL-E Freddoを接続するEthernetインタフェースユニットに合わせて変更してください。

例：ユニットラベル"EN71_EE_2", "Port2"の場合、ユニットラベル=[EN71_EE_2], コネクション番号=[K65]

【入出力ラベル説明】 ※2026/9/18 修正

	ラベル名	デバイス	種別	ラベル機能
入力	i_bEN	M8101	bit	FB実行指令
	i_stModule	–	ユニットラベル	Ethernetユニットラベル
	i_uConNo	–	ワード[符号なし]	Ethernetコネクション番号
	i_uAmpSetting	D8201	ワード[符号なし]	Amp.しきい値　0~8191
	i_uEnergySetting	D8211	ワード[符号なし]	Energyしきい値　0：検出なし, 1~12800
	i_uTouchOutTime	D8221	ワード[符号なし]	TouchOut出力時間　0~200：×0.01s(0~2.00s)
	i_uAmpCoubts	D8231	ワード[符号なし]	Amp.検出回数　0：検出なし, 1~255
出力	o_bENO	M8151	bit	FB実行状態
	o_bOK	M8171	bit	FB正常終了
	o_bError	M8181	bit	FB異常終了
	o_uMErr	D8101	ワード[符号なし]	EthernetユニットエラーID
	o_uErrorId	D8111	ワード[符号なし]	FBエラーID
	o_uAmpCoubts	D8121	ワード[符号なし]	Amp.検出回数　0：検出なし, 1~255
	o_uAmpSetting	D8131	ワード[符号なし]	Amp.しきい値　0~8191
	o_uEnergySetting	D8141	ワード[符号なし]	Energyしきい値　0：検出なし, 1~12800
	o_uTouchOutTime	D8151	ワード[符号なし]	TouchOut出力時間　0~200：×0.01s(0~2.00s)

【FBエラーコード一覧】 ※2026/9/18 修正

番号	内容	対処方法
200	コネクション設定範囲外	Ethernetユニットで使用できる17～64,65～129の範囲で設定してください。
210	通信タイムアウト	原因：FB通信を開始後30秒以上応答がない 設定アドレス、ポート番号およびEthernet接続を確認してください。
220	受信タイムアウト	原因：MEL-Eから2秒以上通信が受信できない。 通信経路の確認をしてください。MEL-Eユニットの状態を確認して ください。

※ ユニットエラーコードは、Ethernetインタフェースユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
三菱電機㈱ MELSEC iQ-R Ethernet ユーザーズマニュアル(応用編)「3.5 エラーコード一覧」

4-6. Standalone setting1

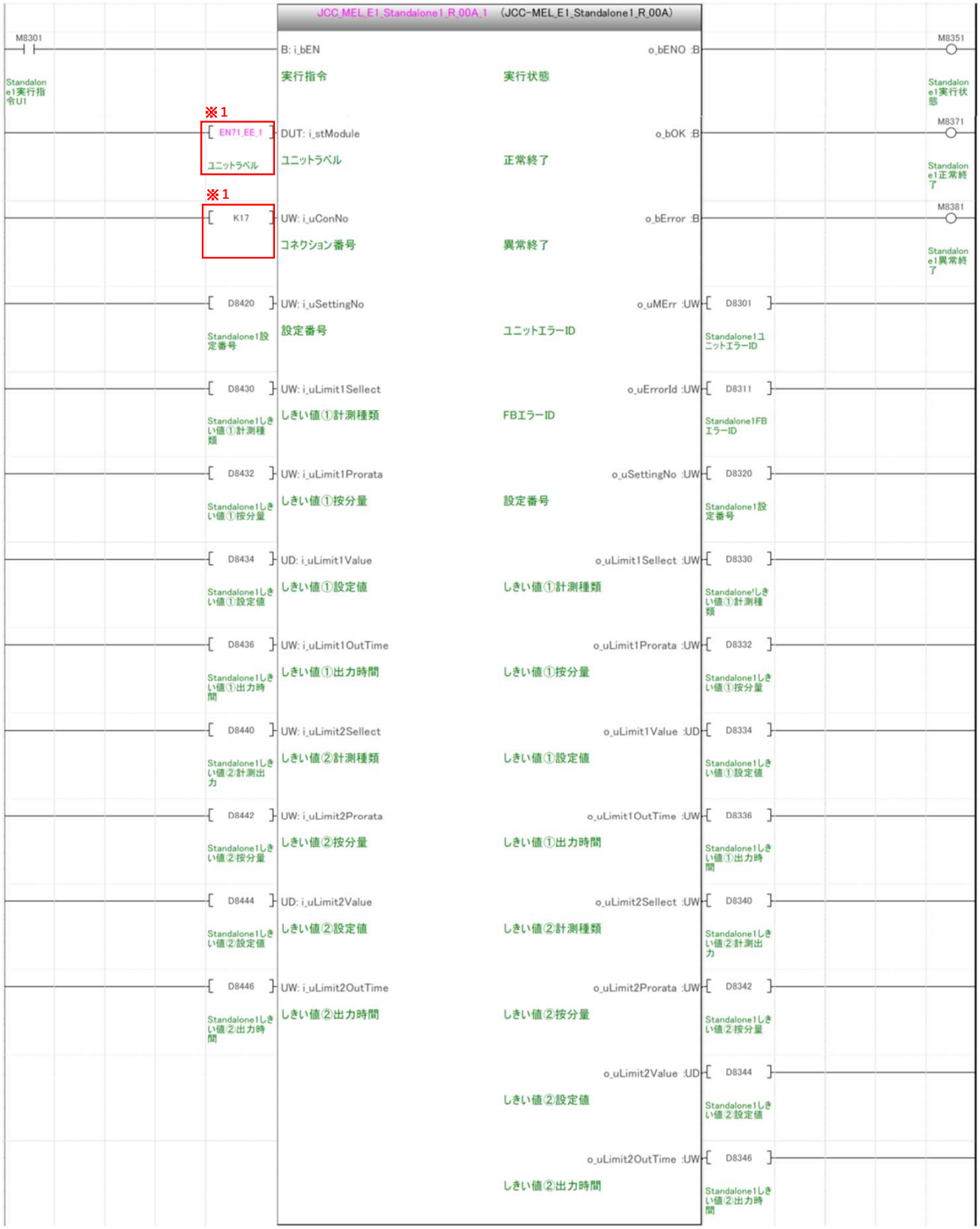
MEL-E Freddo PlusのPegasus Plus 設定2 の書込みを行うFBです。

【使用方法】

"i_bEN(実行指令)"bitをONし、"o_bOK(正常終了)"または"o_bError(異常終了)"のbitがONしたら"i_bEN"bitをOFFします。

※注意事項：AEセンサの計測中は実行しないでください。

【シーケンス例】



※1 ユニットラベル、コネクション番号はMEL-E Freddoを接続するEthernetインタフェースユニットに合わせて変更してください。

例：ユニットラベル"EN71_EE_2", "Port2"の場合、ユニットラベル=[EN71_EE_2], コネクション番号=[K65]

【入出力ラベル説明】 ※2026/9/18 修正

	ラベル名	デバイス	種別	ラベル機能	
入力	i_bEN	M8301	bit	FB実行指令	
	i_stModule	−	ユニットラベル	Ethernetユニットラベル	
	i_uConNo	−	ワード[符号なし]	Ethernetコネクション番号	
	i_uSettingNo	D8420	ワード[符号なし]	品種番号	1~8
	i_uLimit1Sellect	D8430	ワード[符号なし]	しきい値警報1対象	0:なし, 1:Amplitude, 2:Energy, 3:RMS, 4:Counts、5:Energy最大値, 6:Energy総和値 7:RMS最大値, 8:RMS総和値, 9:Amplitude平均値, 10:Amplitudeバラツキ値
	i_uLimit1Prorata	D8432	ワード[符号なし]	しきい値1按分値	0~9
	i_uLimit1Value	D8434	ダブルワード	しきい値1	0~99999999
	i_uLimit1OutTime	D8436	ワード[符号なし]	しきい値1警報時間	0~65535：×0.01s(0~655.35s)
	i_uLimit2Sellect	D8440	ワード[符号なし]	しきい値警報2対象	0:なし, 1:Amplitude, 2:Energy, 3:RMS, 4:Counts、5:Energy最大値, 6:Energy総和値 7:RMS最大値, 8:RMS総和値, 9:Amplitude平均値, 10:Amplitudeバラツキ値
	i_uLimit2Prorata	D8442	ワード[符号なし]	しきい値2按分値	0~9
	i_uLimit2Value	D8444	ダブルワード	しきい値2	0~99999999
	i_uLimit2OutTime	D8446	ワード[符号なし]	しきい値2警報時間	0~65535：×0.01s(0~655.35s)
出力	o_bENO	M8351	bit	FB実行状態	
	o_bOK	M8371	bit	FB正常終了	
	o_bError	M8381	bit	FB異常終了	
	o_uMErr	M8301	ワード[符号なし]	Ethernetユニットエラー ID	
	o_uErrorId	M8311	ワード[符号なし]	FBエラーID	
	o_uSettingNo	D8320	ワード[符号なし]	品種番号	1~8
	o_uLimit1Sellect	D8330	ワード[符号なし]	しきい値警報1対象	0:なし, 1:Amplitude, 2:Energy, 3:RMS, 4:Counts、5:Energy最大値, 6:Energy総和値 7:RMS最大値, 8:RMS総和値, 9:Amplitude平均値, 10:Amplitudeバラツキ値
	o_uLimit1Prorata	D8332	ワード[符号なし]	しきい値1按分値	0~9
	o_uLimit1Value	D8334	ダブルワード	しきい値1	0~99999999
	o_uLimit1OutTime	D8336	ワード[符号なし]	しきい値1警報時間	0~65535：×0.01s(0~655.35s)
	o_uLimit2Sellect	D8340	ワード[符号なし]	しきい値警報2対象	0:なし, 1:Amplitude, 2:Energy, 3:RMS, 4:Counts、5:Energy最大値, 6:Energy総和値 7:RMS最大値, 8:RMS総和値, 9:Amplitude平均値, 10:Amplitudeバラツキ値
	o_uLimit2Prorata	D8342	ワード[符号なし]	しきい値2按分値	0~9
	o_uLimit2Value	D8344	ダブルワード	しきい値2	0~99999999
	o_uLimit2OutTime	D8346	ワード[符号なし]	しきい値2警報時間	0~65535：×0.01s(0~655.35s)

【FBエラーコード一覧】 ※2026/9/18 修正

番号	内容	対処方法
200	コネクション設定範囲外	Ethernetユニットで使用できる17～64,65～129の範囲で設定してください。
210	通信タイムアウト	原因：FB通信を開始後30秒以上応答がない 設定アドレス、ポート番号およびEthernet接続を確認してください。
220	受信タイムアウト	原因：MEL-Eから2秒以上通信が受信できない。 通信経路の確認をしてください。MEL-Eユニットの状態を確認して ください。

※ ユニットエラーコードは、Ethernetインタフェースユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
三菱電機㈱ MELSEC iQ-R Ethernet ユーザーズマニュアル(応用編)「3.5 エラーコード一覧」

4-7. Standalone setting2

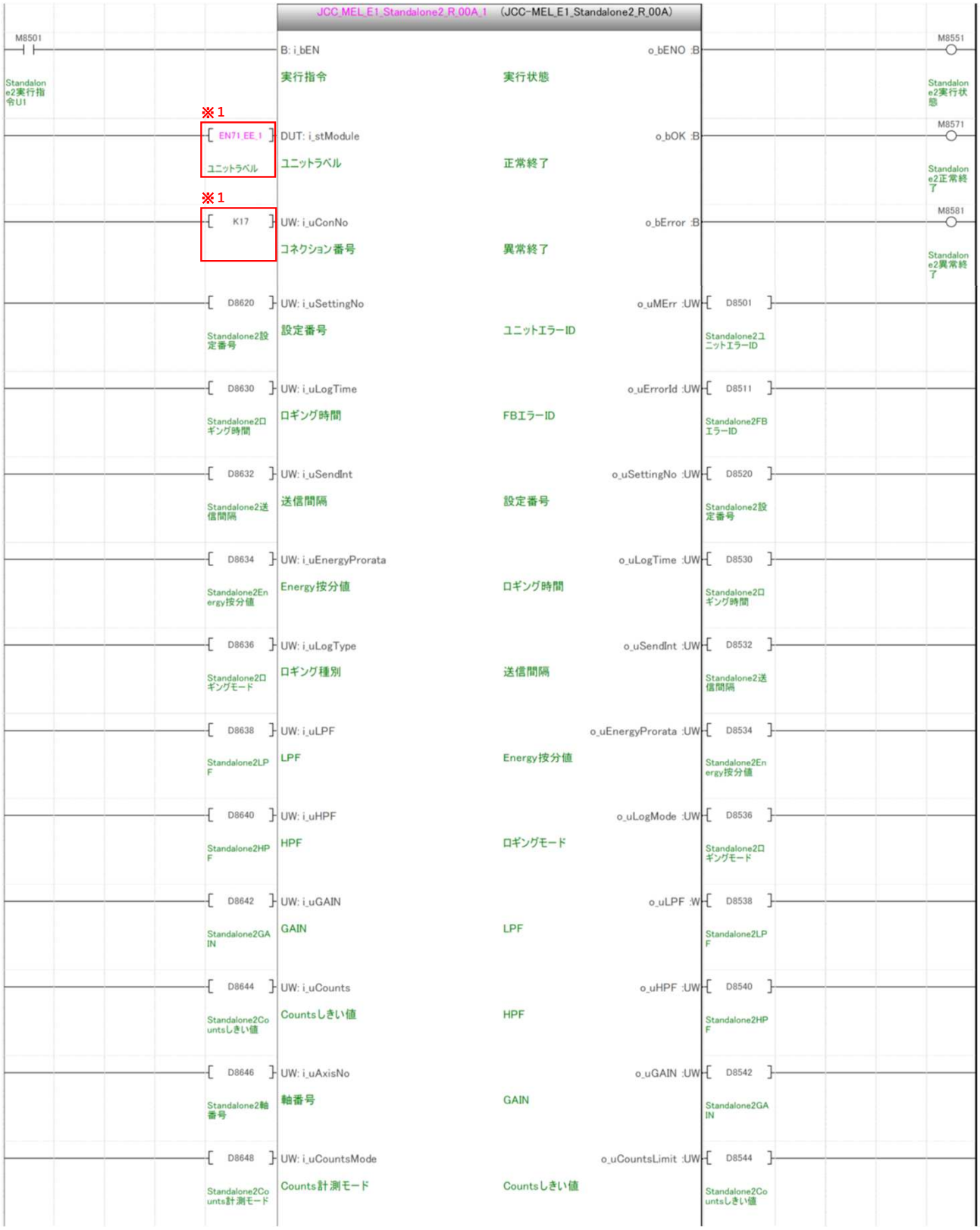
MEL-E Freddo PlusのPegasus Plus 設定2 の書込みを行うFBです。

【使用方法】

"i_bEN(実行指令)"bitをONし、"o_bOK(正常終了)"または"o_bError(異常終了)"のbitがONしたら"i_bEN"bitをOFFします。

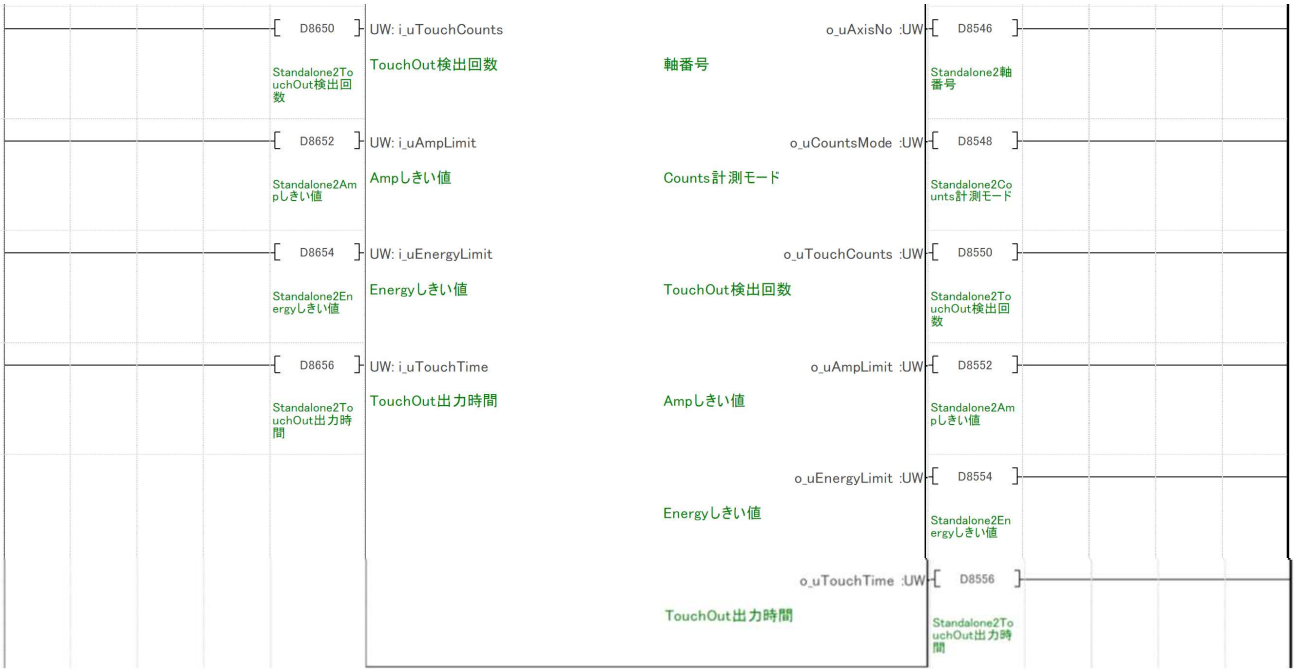
※注意事項：AEセンサの計測中は実行しないでください。

【シーケンス例】



※1 ユニットラベル、コネクション番号はMEL-E Freddoを接続するEthernetインタフェースユニットに合わせて変更してください。

例：ユニットラベル"EN71_EE_2", "Port2"の場合、ユニットラベル=[EN71_EE_2], コネクション番号=[K65]


D8650
UW: i_uTouchCounts
TouchOut検出回数
Standalone2TouchOut検出回数
D8652
UW: i_uAmpLimit
Ampしきい値
Standalone2Ampしきい値
D8654
UW: i_uEnergyLimit
Energyしきい値
Standalone2Energyしきい値
D8656
UW: i_uTouchTime
TouchOut出力時間
Standalone2TouchOut出力時間
o_uAxisNo :UW
軸番号
o_uCountsMode :UW
Counts計測モード
o_uTouchCounts :UW
TouchOut検出回数
o_uAmpLimit :UW
Ampしきい値
o_uEnergyLimit :UW
Energyしきい値
o_uTouchTime :UW
TouchOut出力時間
D8546
Standalone2軸番号
D8548
Standalone2Counts計測モード
D8550
Standalone2TouchOut検出回数
D8552
Standalone2Ampしきい値
D8554
Standalone2Energyしきい値
D8556
Standalone2TouchOut出力時間

【入出力ラベル説明】 ※2026/9/18 修正

	ラベル名	デバイス	種別	ラベル機能	
入力	i_bEN	M8501	bit	FB実行指令	
	i_stModule	－	ユニットラベル	Ethernetユニットラベル	
	i_uConNo	－	ワード[符号なし]	Ethernetコネクション番号	
	i_uSettingNo	D8620	ワード[符号なし]	品種番号	1~8
	i_uLogTime	D8630	ワード[符号なし]	ロギングタイマ	0：連続, 10~200：×0.1s(1.0~20.0s)
	i_uSendInt	D8632	ワード[符号なし]	送信間隔	0:1m, 1:10m, 2:20m, 3:50m, 4:100m, 5:500m, 6:1, 7:2, 8:5, 9:10, 10:15, 11:20 [s]
	i_uEnergyProrata	D8634	ワード[符号なし]	Energy按分値	0~9
	i_uLogType	D8636	ワード[符号なし]	ロギング種別	0：連続, 1：タイマ
	i_uLPF	D8638	ワード[符号なし]	ローパスフィルタ	0：80, 1：100, 2：180, 3：200, 4：360, 5：400, 6：600, 7：1000 [kHz]
	i_uHPF	D8640	ワード[符号なし]	ハイパスフィルタ	0：20, 1：30, 2：50, 3：80, 4：100, 5：150, 6：200, 7：240 [kHz]
	i_uGAIN	D8642	ワード[符号なし]	ゲイン設定	0：0dB, 1：10dB, 2：20dB, 3：30dB, 4：40dB, 5：50dB
	i_uCounts	D8644	ワード[符号なし]	Amp.しきい値	0：0% - 127：100%
	i_uAxisNo	D8646	ワード[符号なし]	軸番号	1：固定値
	i_uCountsMode	D8648	ワード[符号なし]	Counts計測モード	0：0V交点数モード, 1：Amp.しきい値交点数モード
	i_uTouchCounts	D8650	ワード[符号なし]	Amp.検出回数	TouchOut設定　0：検出なし, 1~255
	i_uAmpLimit	D8652	ワード[符号なし]	Amp.しきい値	TouchOut設定　0~8191
	i_uEnergyLimit	D8654	ワード[符号なし]	Energyしきい値	TouchOut設定　0：検出なし, 0~12800
	i_uTouchTime	D8656	ワード[符号なし]	TouchOut出力時間	TouchOut設定　0~200：×0.01s(0~2.00s)
出力	o_bENO	M8551	bit	FB実行状態	
	o_bOK	M8571	bit	FB正常終了	
	o_bError	M8581	bit	FB異常終了	
	o_uMErr	D8501	ワード[符号なし]	EthernetユニットエラーID	
	o_uErrorId	D8511	ワード[符号なし]	FBエラーID	
	o_uSettingNo	D8520	ワード[符号なし]	品種番号	1~8
	o_uLogTime	D8530	ワード[符号なし]	ロギングタイマ	0：連続, 10~200：×0.1s(1.0~20.0s)
	o_uSendInt	D8532	ワード[符号なし]	送信間隔	0:1m, 1:10m, 2:20m, 3:50m, 4:100m, 5:500m, 6:1, 7:2, 8:5, 9:10, 10:15, 11:20 [s]
	o_uEnergyProrata	D8534	ワード[符号なし]	Energy按分値	0~9
	o_uLogType	D8536	ワード[符号なし]	ロギング種別	0：連続, 1：タイマ
	o_uLPF	D8538	ワード[符号なし]	ローパスフィルタ	0：80, 1：100, 2：180, 3：200, 4：360, 5：400, 6：600, 7：1000 [kHz]
	o_uHPF	D8540	ワード[符号なし]	ハイパスフィルタ	0：20, 1：30, 2：50, 3：80, 4：100, 5：150, 6：200, 7：240 [kHz]
	o_uGAIN	D8542	ワード[符号なし]	ゲイン設定	0：0dB, 1：10dB, 2：20dB, 3：30dB, 4：40dB, 5：50dB
	o_uCounts	D8544	ワード[符号なし]	Amp.しきい値	0：0% - 127：100%
	o_uShaftNo	D8546	ワード[符号なし]	軸番号	1：固定値
	o_uCountsMode	D8548	ワード[符号なし]	Counts計測モード	0：0V交点数モード, 1：Amp.しきい値交点数モード
	o_uTouchCounts	D8550	ワード[符号なし]	Amp.検出回数	TouchOut設定　0：検出なし, 1~255
	o_uAmpLimit	D8552	ワード[符号なし]	Amp.しきい値	TouchOut設定　0~8191
	o_uEnergyLimit	D8554	ワード[符号なし]	Energyしきい値	TouchOut設定　0：検出なし, 1~12800
	o_uTouchTime	D8556	ワード[符号なし]	TouchOut出力時間	TouchOut設定　0~200：×0.01s(0~2.00s)

【FBエラーコード一覧】 ※2026/9/18 修正

番号	内容	対処方法
200	コネクション設定範囲外	Ethernetユニットで使用できる17～64,65～129の範囲で設定してください。
210	通信タイムアウト	原因：FB通信を開始後30秒以上応答がない 設定アドレス、ポート番号およびEthernet接続を確認してください。
220	受信タイムアウト	原因：MEL-Eから2秒以上通信が受信できない。 通信経路の確認をしてください。MEL-Eユニットの状態を確認して ください。

※ ユニットエラーコードは、Ethernetインタフェースユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
三菱電機㈱ MELSEC iQ-R Ethernet ユーザーズマニュアル(応用編)「3.5 エラーコード一覧」

4-8. Standalone setting3

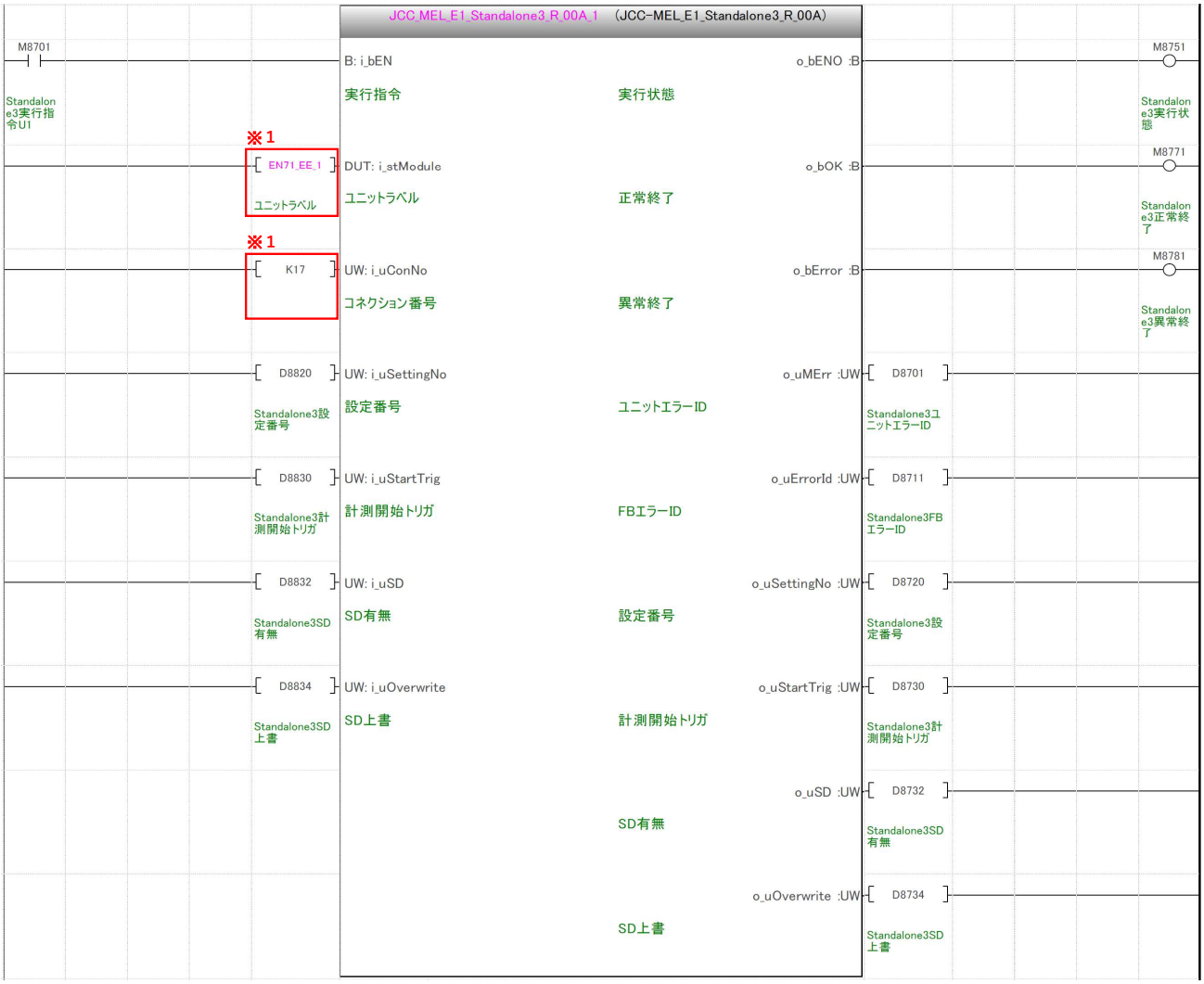
MEL-E Freddo PlusのPegasus Plus 設定1 の書込みを行うFBです。

【使用方法】

"i_bEN(実行指令)"bitをONし、"o_bOK(正常終了)"または"o_bError(異常終了)"のbitがONしたら"i_bEN"bitをOFFします。

※注意事項：AEセンサの計測中は実行しないでください。

【シーケンス例】



※1 ユニットラベル、コネクション番号はMEL-E Freddoを接続するEthernetインタフェースユニットに合わせて変更してください。
例：ユニットラベル"EN71_EE_2", "Port2"の場合、ユニットラベル=[EN71_EE_2], コネクション番号=[K65]

【入出力ラベル説明】 ※2026/9/18 修正

	ラベル名	デバイス	種別	ラベル機能	
入力	i_bEN	M8701	bit	FB実行指令	
	i_stModule	－	ユニットラベル	Ethernetユニットラベル	
	i_uConNo	－	ワード[符号なし]	Ethernetコネクション番号	
	i_uSettingNo	D8820	ワード[符号なし]	品種番号	1~8
	i_uStartTrig	D8830	ワード[符号なし]	計測トリガ	0：PIO, 1：PC(コマンド)
	i_uSD	D8832	ワード[符号なし]	SD有無	0：SDなし, 1：SDあり
	i_uOverwrite	D8834	ワード[符号なし]	SD上書き	0：禁止, 1：許可
出力	o_bENO	M8751	bit	FB実行状態	
	o_bOK	M8771	bit	FB正常終了	
	o_bError	M8781	bit	FB異常終了	
	o_uMErr	D8701	ワード[符号なし]	Ethernetユニットエラー ID	
	o_uErrorId	D8711	ワード[符号なし]	FBエラーID	
	o_uSettingNo	D8720	ワード[符号なし]	品種番号	1~8
	o_uStartTrig	D8730	ワード[符号なし]	計測トリガ	0：PIO, 1：PC(コマンド)
	o_uSD	D8732	ワード[符号なし]	SD有無	0：SDなし, 1：SDあり
	o_uOverwrite	D8734	ワード[符号なし]	SD上書き	0：禁止, 1：許可

【FBエラーコード一覧】 ※2026/9/18 修正

番号	内容	対処方法
200	コネクション設定範囲外	Ethernetユニットで使用できる17～64,65～129の範囲で設定してください。
210	通信タイムアウト	原因：FB通信を開始後30秒以上応答がない 設定アドレス、ポート番号およびEthernet接続を確認してください。
220	受信タイムアウト	原因：MEL-Eから2秒以上通信が受信できない。 通信経路の確認をしてください。MEL-Eユニットの状態を確認して ください。

※ ユニットエラーコードは、Ethernetインタフェースユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
三菱電機㈱ MELSEC iQ-R Ethernet ユーザーズマニュアル(応用編)「3.5 エラーコード一覧」

5. 高速データロガーユニットの設定

高速データロガーの設定について説明します。

AEデータをロギングする場合は、高速データロガーユニット（RD81DL96）を使用します。
高速データロガーユニットの設定は、「MELSEC 高速データロガーユニット設定ツール」で行ってください。
MELSEC高速データロガーユニット設定ツールは三菱電機のサイトからダウンロードしてください。
※どなたでも無償でダウンロードできます。

サンプルデータ「MEL-E1_Sample_for_RD81DL96_10ms_20260909_01」での設定例を示します。

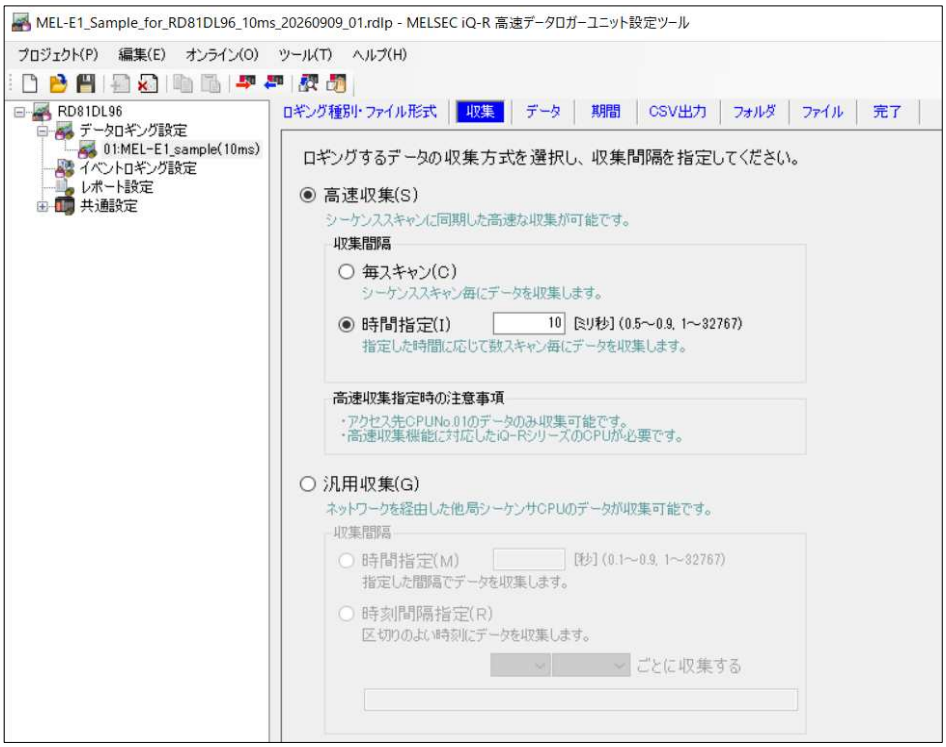
(1) ロギング種別・ファイル形式



ロギング種別は、
"連続ロギング"
を選択しています。

ファイル形式は、
"CSVファイル"
を選択しています。

(2) 収集



収集間隔は、
"10[ミリ秒]"（10ms）
を設定しています。

(3) データ

※各データに合わせた「データ型」を選択してください。 ※2026/9/18 修正



(4) 期間

ロギング条件として、ロギング計測開始（Mesurementロギング）実行指令の"ON"を指定しています。 ※2026/9/18 修正



ロギング条件として、
LogTrigger
M7511
[Mesurment ロギング]
の"ON"を指定しています。

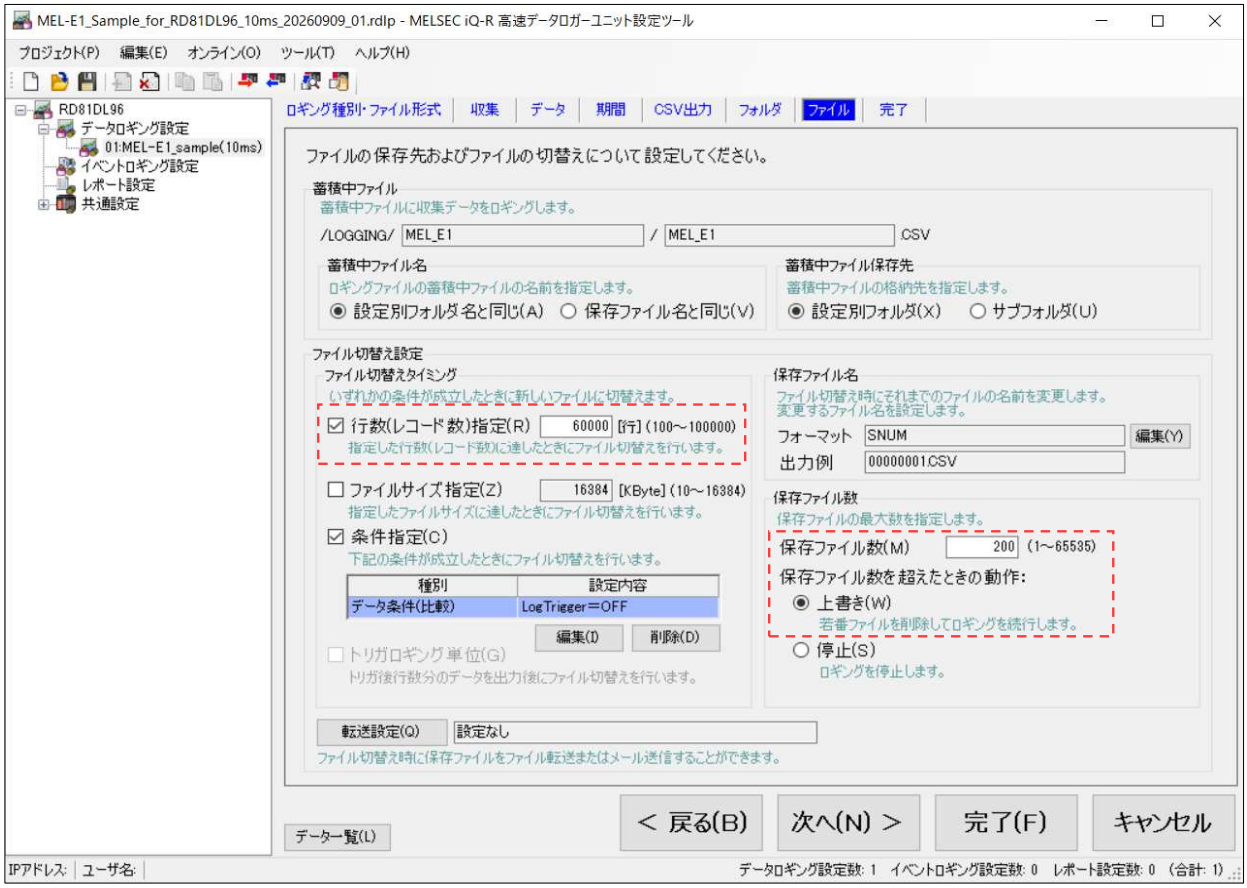
(5) CSV出力



(6) フォルダ



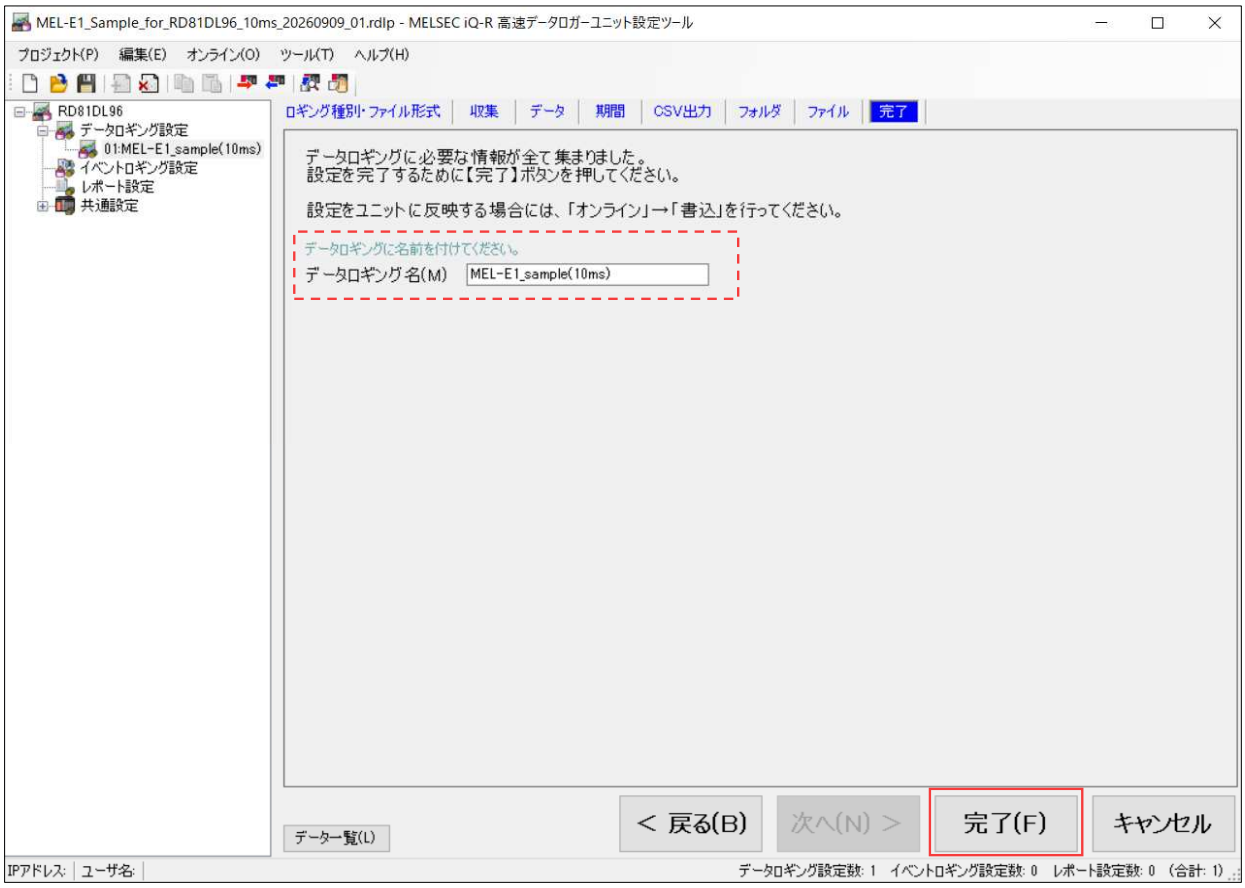
(7) ファイル



レコード数指定は
"60000"を設定しています。

保存ファイル数は
"200"を設定しています。

(8) 完了



データロギング名は"MEL-E1_sample(10ms)"を設定しています。

「完了」をクリックしてウィンドウを閉じます。

■ 履歴

【ソフトウェア：FBライブラリ】

バージョン番号	日付	内容
v103A	2026/9/7	初版
v106A	2026/9/18	Status Check FBをMesuremnt Start/Stop FBに統合、ロギング計測を単独トリガに変更 ラベル名：i_uShaftNoをi_uAxisNoに変更

【ソフトウェア：高速データロガーユニット設定ファイル】

バージョン番号	日付	内容
20260105	2026/1/5	初版
20260909	2026/9/9	ログトリガーをM7511[Mesumentロギング]に変更

【MELSEC IQ-R接続用ソフトウェア 解説書】

資料番号	日付	内容
FNF0040940	2026/9/7	初版
FNF0040941	2026/9/11	誤記修正：P11, 27, 32（TouchOut設定値 数値範囲修正）
FNF0040942	2026/9/18	修正：P1, 2, 16-21, 35（Status Check FBをMesuremnt Start/Stop FBに統合、ロギング計測を単独トリガに変更） 修正：P3, 11, 13-16, 22, 23, 25-29, 31-33（コメント修正、数値範囲修正、デバイス追記）

*本製品はAEセンサをキーテクノロジーとして採用したデータロギングシステムです。機械故障予兆診断結果、品質管理を保証するものではありません。

■お問合せ　株式会社ジェイ・シー・シー
https://www.j-isb.jp/

＜神戸事務所＞　〒675-0031
兵庫県加古川市加古川町北在家2444　大日加古川ビル3F
TEL : 079-423-2550 / FAX : 079-423-2551

＜技術センター＞　〒471-0015
愛知県豊田市上野町4-1-2
TEL : 0565-87-2205 / FAX : 0565-87-2206